

令和3年（2021年）3月27日

「地域コミュニティ」を考えるシンポジウム
～みんなで知って考えよう地域コミュニティの「いま」と「未来」～

町内会・自治会等実態調査結果の 報告及び考察について

広島市企画総務局コミュニティ再生課長

中谷 満美子

広島市の地域コミュニティの現状

1. 広島市の地域団体

主な地域団体

16種類、約6,300団体

➤ 地域住民を主な構成員とし、かつ、小学校区以下を活動範囲とする団体

<主な地域団体>

① **地縁型**：一定の地域に居住する人々による団体

町内会・自治会

② **属性型**：ある同一の特徴を持っている地域住民による団体

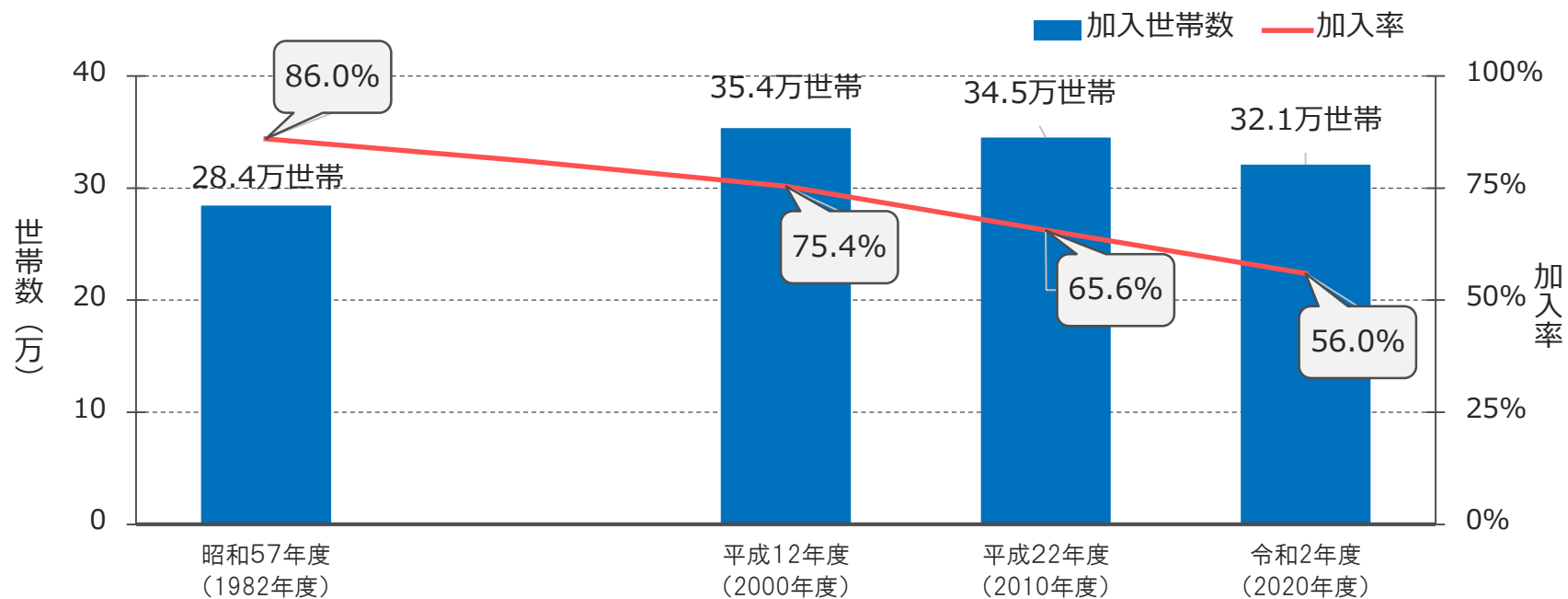
女性会、老人クラブ、母子寡婦福祉会、子ども会、
地域活動連絡協議会（母親クラブ）

③ **目的型**：ある一定の目標の下に集まり活動する団体

自主防災組織、防犯組合、体育協会、地区社会福祉協議会、
民生委員児童委員協議会、献血推進協議会、
公衆衛生推進協議会、交通安全運動推進隊、
青少年健全育成連絡協議会、PTA

2. 地域団体の現状

町内会・自治会の加入世帯数・加入率の推移



- 町内会・自治会加入率は、政令市移行後（調査開始：昭和57年度）毎年低下
- 過去20年間は毎年約1%低下。令和2年度は56.0%

「関わる意思を示す人」が減少 ⇒ 地域コミュニティの衰退

(資料) 広島市の町内会・自治会の組織状況

3. 地域コミュニティの衰退要因

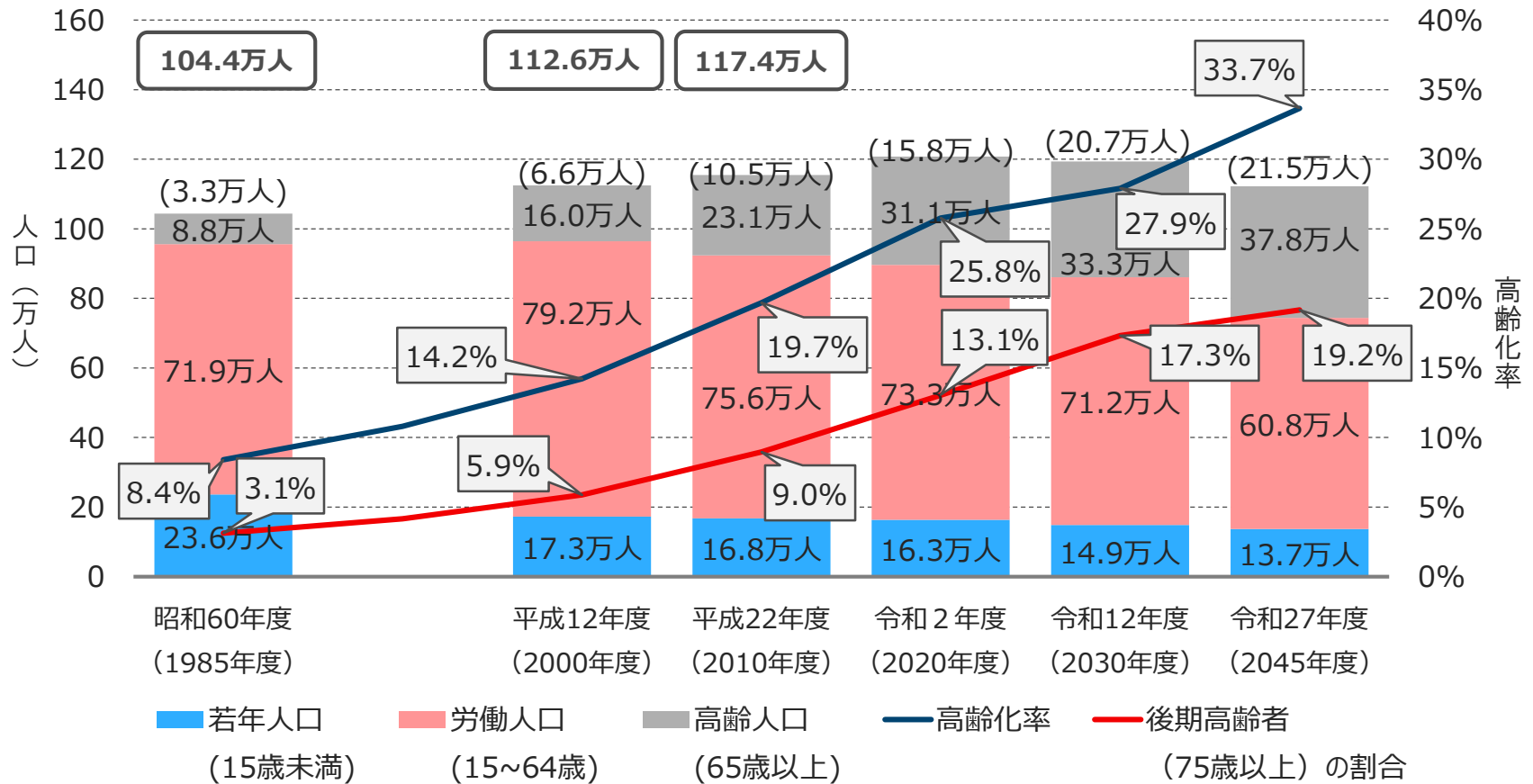
① 少子高齢化

② 家族単位の縮小
(単身世帯の増加)

③ 労働環境の変化

④ 生活環境の変化

① 少子高齢化



- 高齢者化率（65歳以上）は過去20年で2倍増。特に後期高齢者（75歳以上）の伸率が高い。
 ※要介護（支援）認定率は75歳以上で高くなる傾向。本市の平均健康寿命は男性70歳、女性72歳。
- 若年人口（14歳以下）も減少の一途。増加の見込みなし。

(注) カッコ内の数値は後期高齢者の人数、1985年度、2000年度の数値には湯来町を含まない。

(資料) 国勢調査、2020年度以降は社人研推計人口

地域コミュニティに及ぼす影響

①生産年齢人口減少、定年延長の加速

- 地域活動の主戦力と期待される60代の参画が得られにくい。

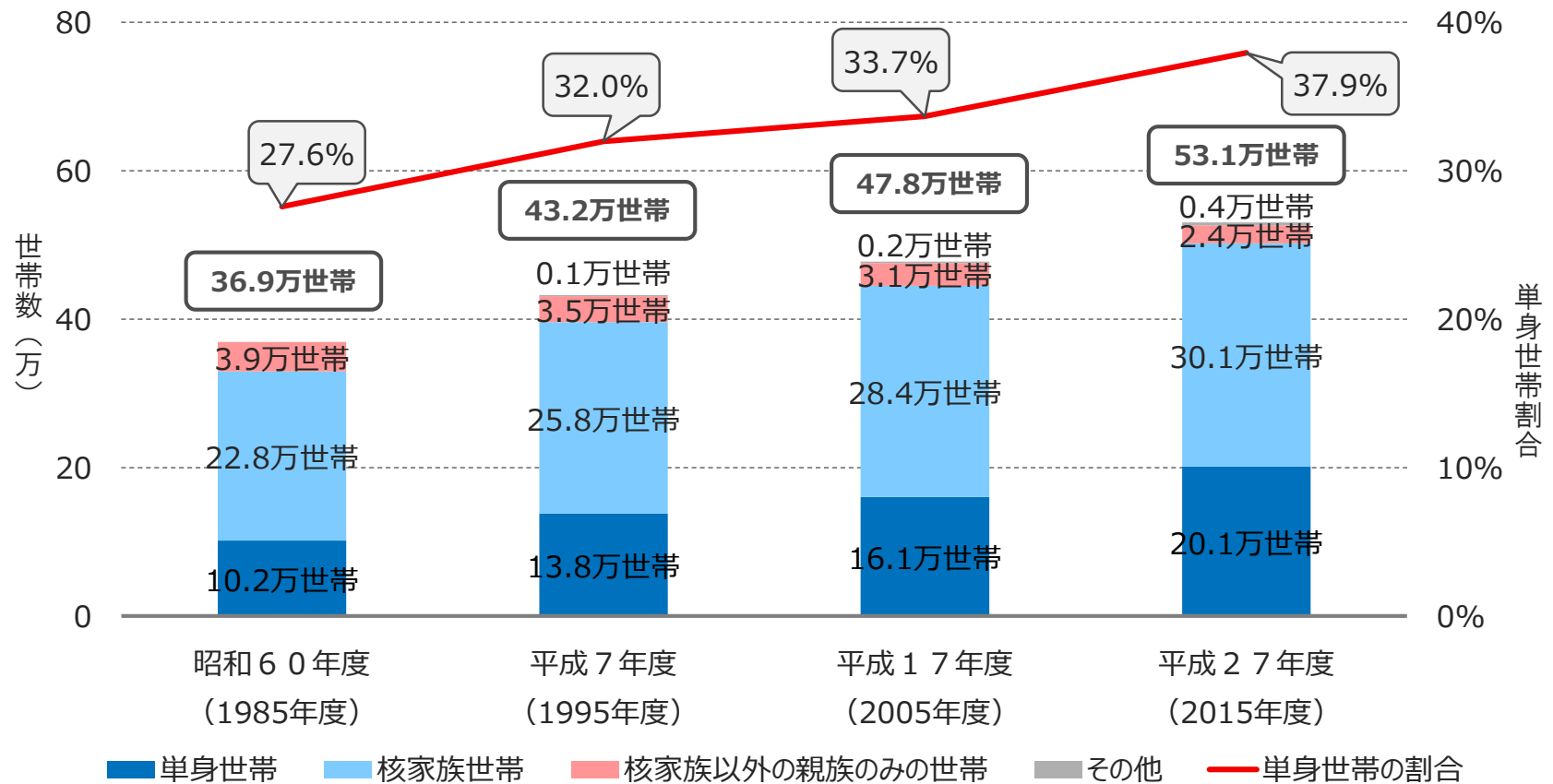
②子どものための地域活動の減少

- 親世代の参画が進まず、次世代の担い手育成が困難に。

③「支えられる側」になりやすい75歳以上の高齢者の大幅増加

- 「支える側（担い手）」の負担増加
- 高齢者の脱退・不参加が進み、活動資金や活動回数・内容が減少

②家族単位の縮小（単身世帯の増加）



- 単身世帯は過去30年で2倍に増加。三世代以上の世帯は減少し核家族化が進行。
- 単身世帯の地域活動への参画、地域とのつながりが「強い」と感じる率は低い傾向。
(広島市市民意識調査)

(資料) 国勢調査

②家族単位の縮小（単身世帯の増加）

地域コミュニティに及ぼす影響

①家族内での世代間の情報交換、
地域活動参加のきっかけの減少

• 地域活動への参画機会喪失

②地域に知っている人がいない。
（特に賃貸アパートなど）
参加意欲が湧かない。

• 自らが住む地域への愛着が生まれず帰属意識が育たない。

③これまでのような家庭内での
生活課題解決、支え合いが
できない。

• 生活課題の表面化、深刻化

③ライフスタイル（労働環境）の変化

● 共働きの増加

共働き世帯数（広島市）	昭和60年 29.2%（7.0万世帯）	▶▶▶	平成27年 37.6%（10.4万世帯）
専業主婦の世帯数（広島市）	昭和60年 47.7%（11.4万世帯）	▶▶▶	平成27年 27.6%（7.6万世帯）

（資料：国勢調査）

● 勤務時間の多様化

深夜勤務従事の雇用者割合（全国）	平成9年 13.3%	▶▶▶	平成24年 21.8%
有業者の曜日別行動率（全国）※日曜日出勤者	昭和61年 17.9%	▶▶▶	平成28年 21.3%

（資料：労働安全衛生特別調査 厚生労働省）
（資料：社会生活基本調査 総務省）

● 自営業者の減少

就業者に占める自営業者の割合（広島市）	昭和55年 13.4%	▶▶▶	平成27年 7.4%
---------------------	-------------	-----	------------

（資料：国勢調査）

● 定年の延長

60歳以上の労働者数（広島市）	昭和55年 3.7万人	▶▶▶	平成27年 10.8万人
-----------------	-------------	-----	--------------

（資料：国勢調査）

- 労働環境における様々な社会的要因（女性の社会進出、サービス業への従事者増加、多様な勤務形態、高年齢者の就業促進など）が、家庭生活や地域社会での生活に複合的に影響

③ライフスタイル（労働環境）の変化

地域コミュニティに及ぼす影響

①専業主婦層の減少、比較的若い高齢者層の就労継続

- 地域コミュニティの主な支え手だった生活時間に余裕のある 人材が減少

②就業者の休日・勤務時間の多様化

- 地域の行事等に 物理的に参加できない住民が増加
- ライフスタイルと地域活動が乖離

③自営業者の減少

- 職業上、 地域との関わりの強い層が減少

地域活動に参加・協力する時間や、時間を割く意欲が喪失

④ ライフスタイル（生活環境）の変化

● ソーシャルメディアの発展

オンラインコミュニティ（SNS、メール、電子掲示板等）のみ参加している者の割合（全国）

平成20年 16.3%  平成29年 44.1%


※オフラインコミュニティ（町内会・自治会、ボランティア団体、学習グループ等）は不参加

（資料：平成30年度版 情報通信白書 総務省）

● 余暇時間の活用

1週間の生活時間の増減（全国）

休養、趣味・娯楽、学習、スポーツ 昭和51年 104分  平成28年 165分

ボランティア・社会参加活動、付き合い 昭和51年 32分  平成28年 21分

（資料：社会生活基本調査 総務省）

● 居住環境の変化

共同住宅に住む世帯数の割合（広島市）

昭和60年 41.7%  平成27年 55.8%

（資料：国勢調査）

● 近隣との関係

近隣と「相談したり助け合えるようなつきあい」を望む人（全国）

昭和48年 34.5%  平成30年 18.6%

（資料：第10回「日本人の意識」調査(2018)NHK）

- 生活環境における様々な技術的・社会的要因（都市生活・就労に合致した環境整備、ソーシャルメディアの発展など）が、人々の意識や生活に複合的に影響

④ ライフスタイル（生活環境）の変化

地域コミュニティに及ぼす影響

【居住環境の充実】

- ① 「職」と「住」が分離され、多くの就労者にとって「寝に帰る」場所に
- ② 密室性が高い住宅（マンション等）の増加
- ③ 気軽に集みにくい都市環境（“井戸端会議”的な集いが難しい）

①~③

- 人と人との繋がりが生まれにくい生活環境

【サービス意識の変化】

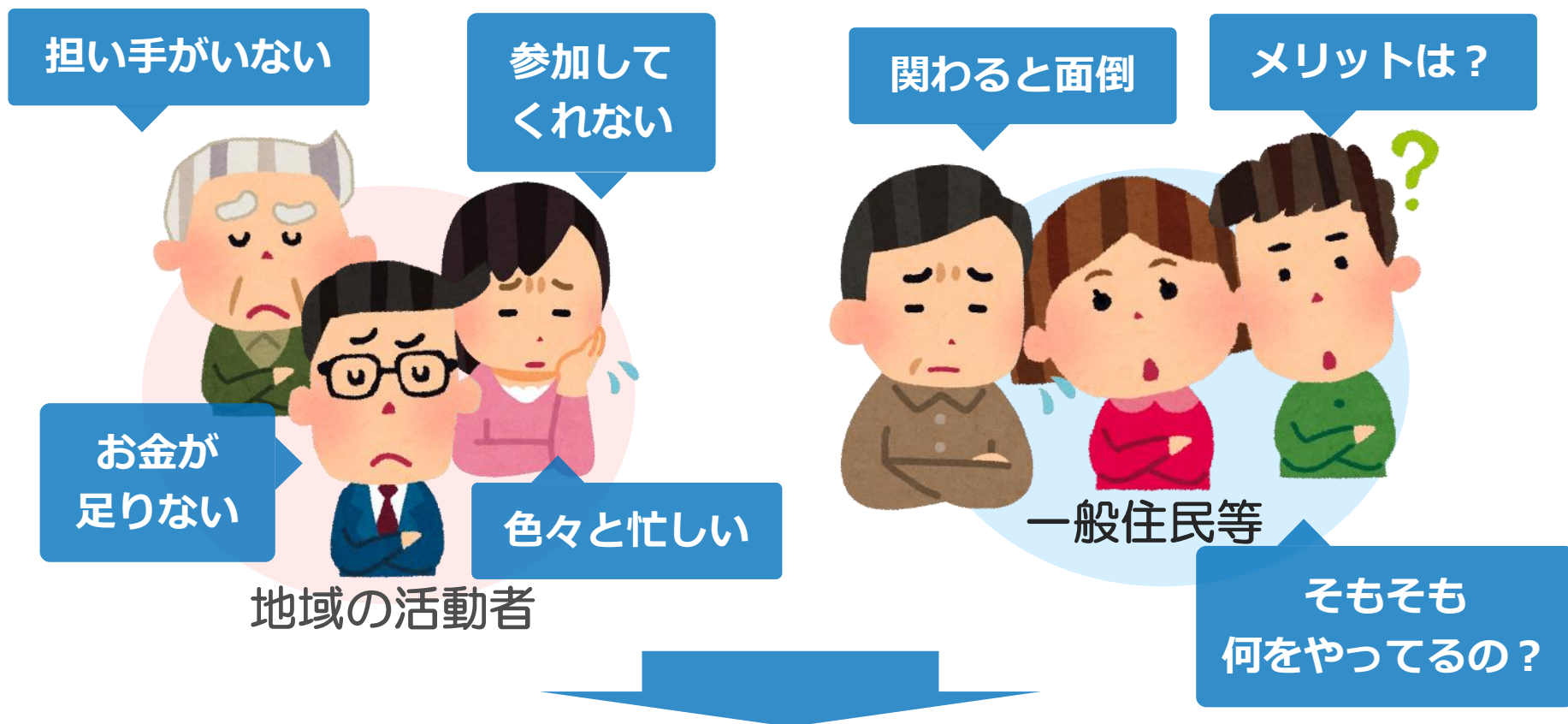
- ④ 新しいコミュニケーション方法の出現（SNS等）
- ⑤ プライバシー意識の高まり
- ⑥ 行政・民間サービスが充実し、地域が担う互助的役割を代行

④~⑥

- 近所の付き合いを避けても生活可能
- 個人の趣味嗜好を優先した行動

地域活動の動機・意欲が減少

地域コミュニティには様々な問題がある と言われているが、実際はどうか？



実態を調査してみよう！

町内会・自治会等実態調査の結果

1. 調査概要

調査期間 令和2年8月～令和3年2月

調査方法

町内会実態調査	対象者・ 標本数	質問内容等	回収率
① 町内会・自治会長アンケート	1,918団体	担当地域の現状と課題、団体の運営に関する事 など【51項目】	76.0%
② 地域団体としたアンケート (地区社協会長、連合町内会長など)	217団体	担当地域の現状と課題、団体の運営に関する事 など【66項目】	89.4%
③ 地域団体へのヒアリング調査	14団体	団体の運営や課題、その解決のための対策など	—
④ 町内会・自治会が解散した地域への ヒアリング調査	3団体	解散後の地域の現状、地域の課題解決の方法 など	—

市民意識調査	対象者・ 標本数	質問内容等	回収率
① 市民アンケート (町内会結成区域)	6,000名	地域の現状や課題に対する意識、地域団体・ 地域活動に対する意識 など【42項目】	41.9%
② 市民アンケート (町内会未結成区域)	1,000名	地域の現状や課題に対する意識、地域団体・ 地域活動に対する意識 など【29項目】	43.9%

【目的】地域団体と市民の皆様の双方から、地域コミュニティへの「思い」や「意見」をお聞きし、活性化の方策を検討する際の基礎資料として使用します。

地域団体・町内会アンケート結果

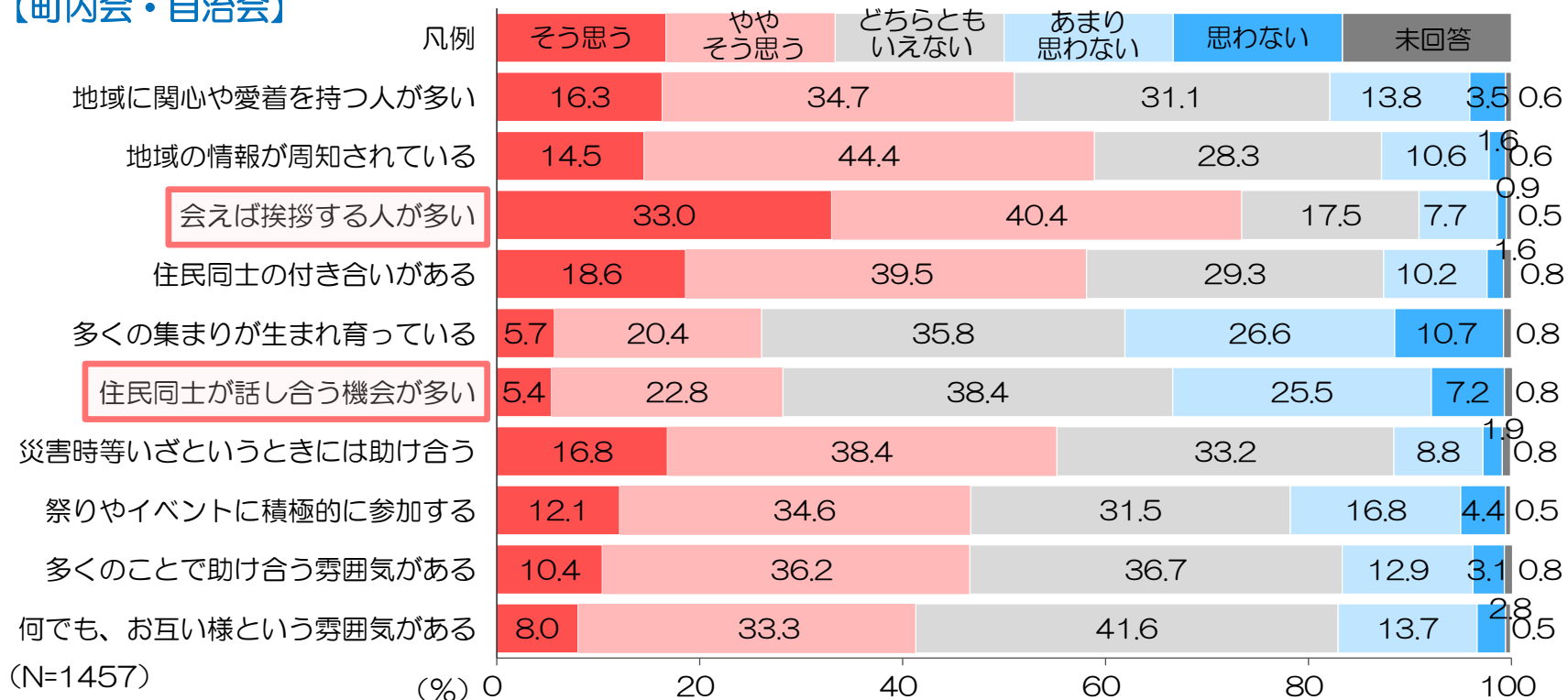
2.調査結果（ポイント）

町内会・自治会アンケート、地域団体アンケート

① 区域の状況

地域住民の付き合い方

【町内会・自治会】



➤ 「会えば挨拶する人が多い」など、比較的軽い付き合いが多く、「住民同士が話し合う機会が多い」など、比較的深い付き合いは少ない。

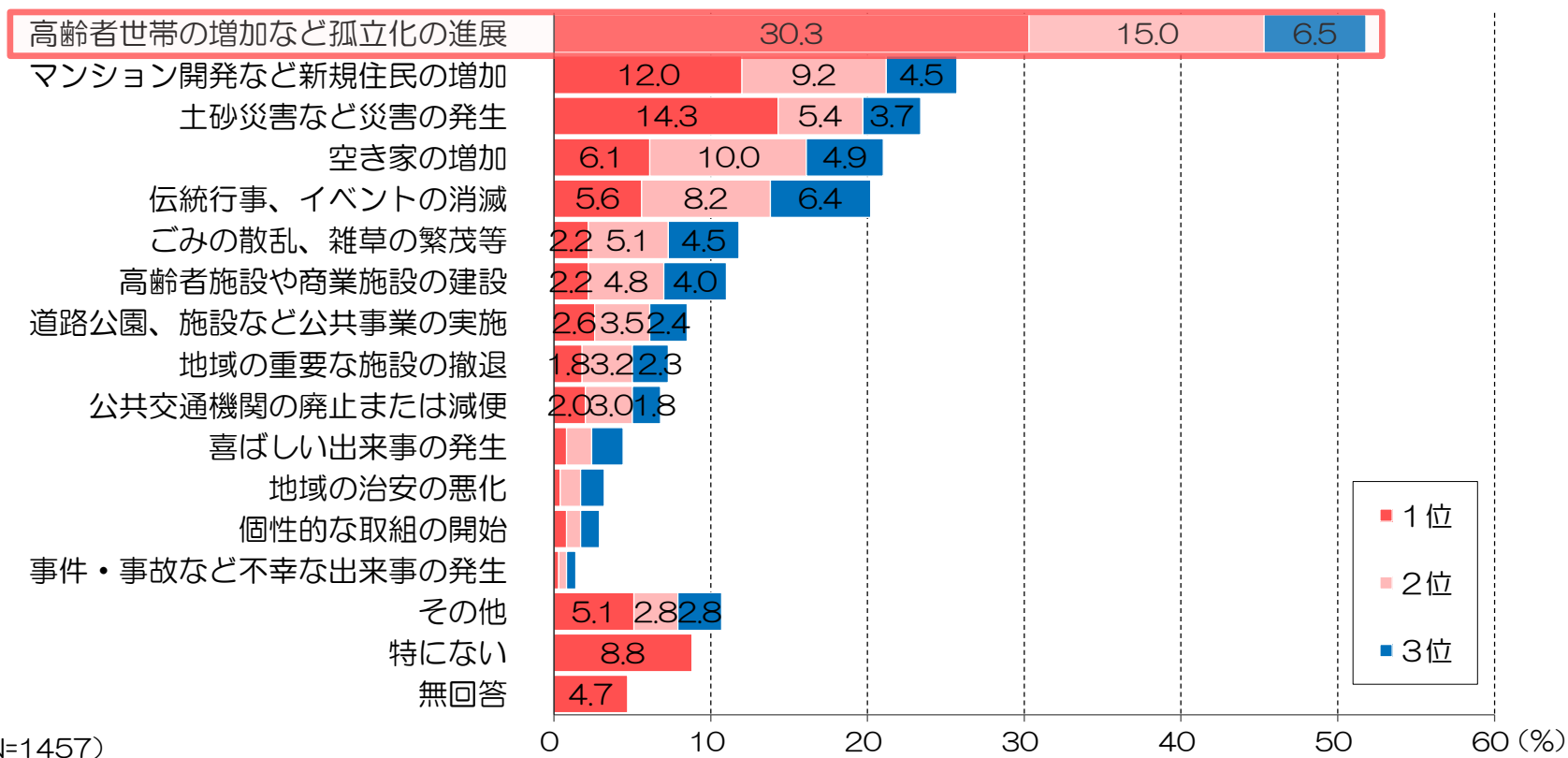
2. 調査結果（ポイント）

町内会・自治会アンケート、地域団体アンケート

① 区域の状況

過去10年間にあった大きな現象

【町内会・自治会】



➤ 過去10年間の現象として「高齢化等による住民の孤立化」が多い。

2.調査結果（ポイント）

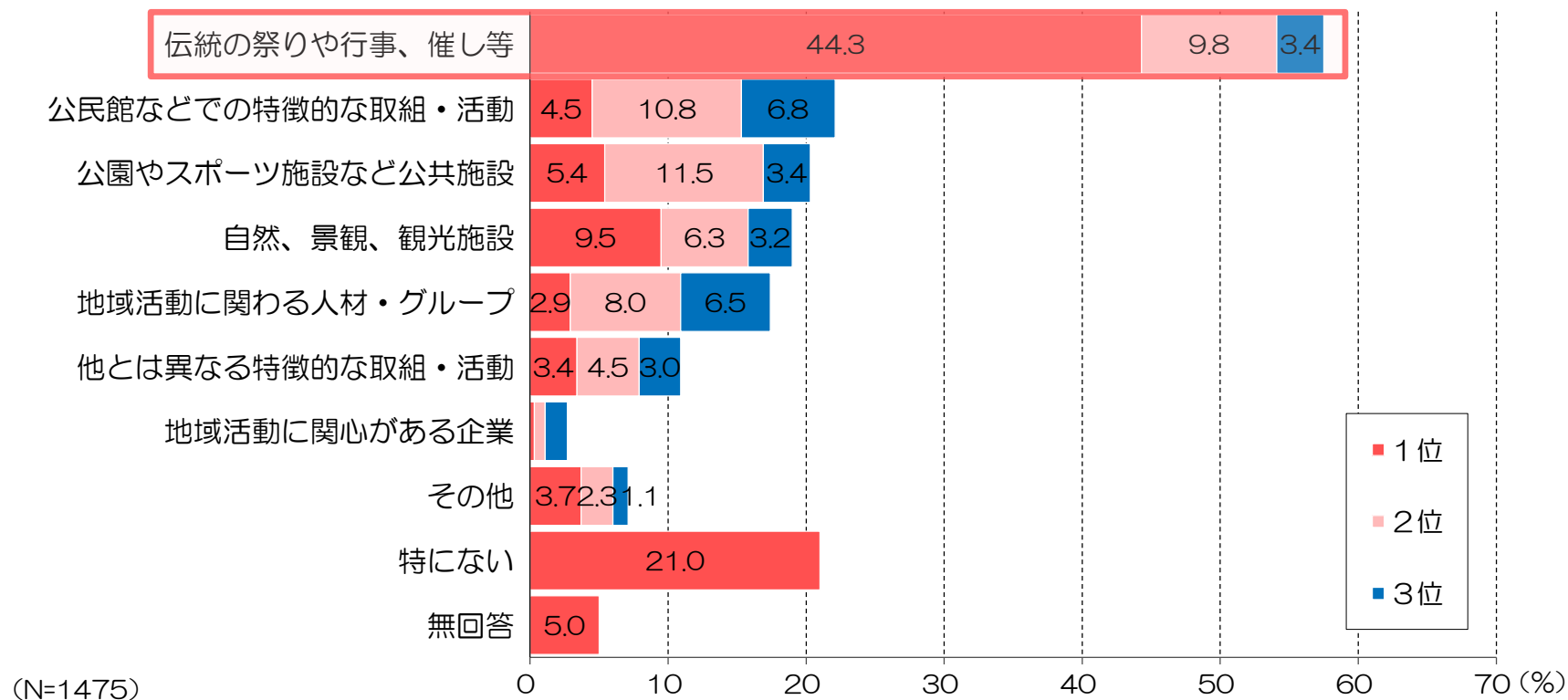
町内会・自治会アンケート、地域団体アンケート

予備

① 区域の状況

町内会・自治会の区域で自慢できるもの

【町内会・自治会】



➤ 地域の自慢「伝統の祭りや行事、催し等」が多い。

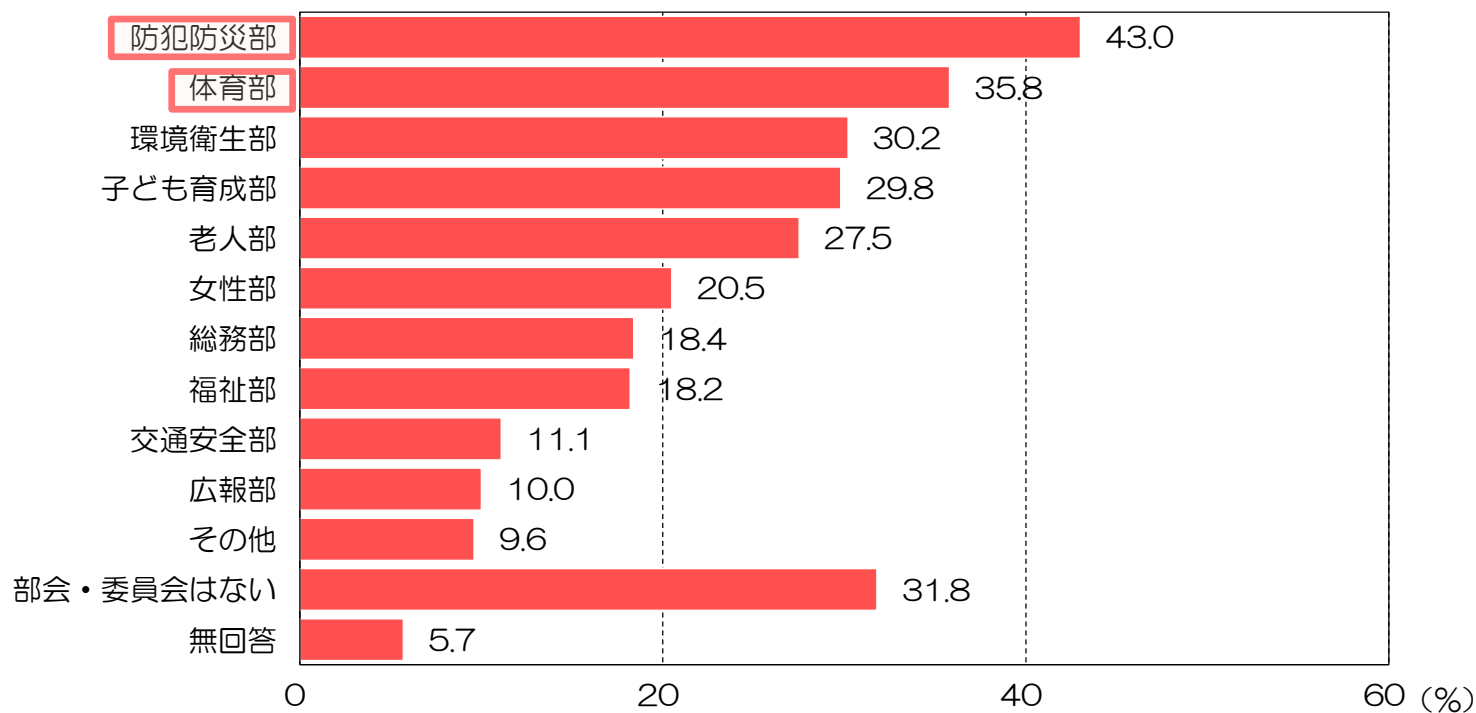
2.調査結果（ポイント）

町内会・自治会アンケート、地域団体アンケート

② 組織の現状・運営状況

部会や委員会の設置状況

【町内会・自治会】

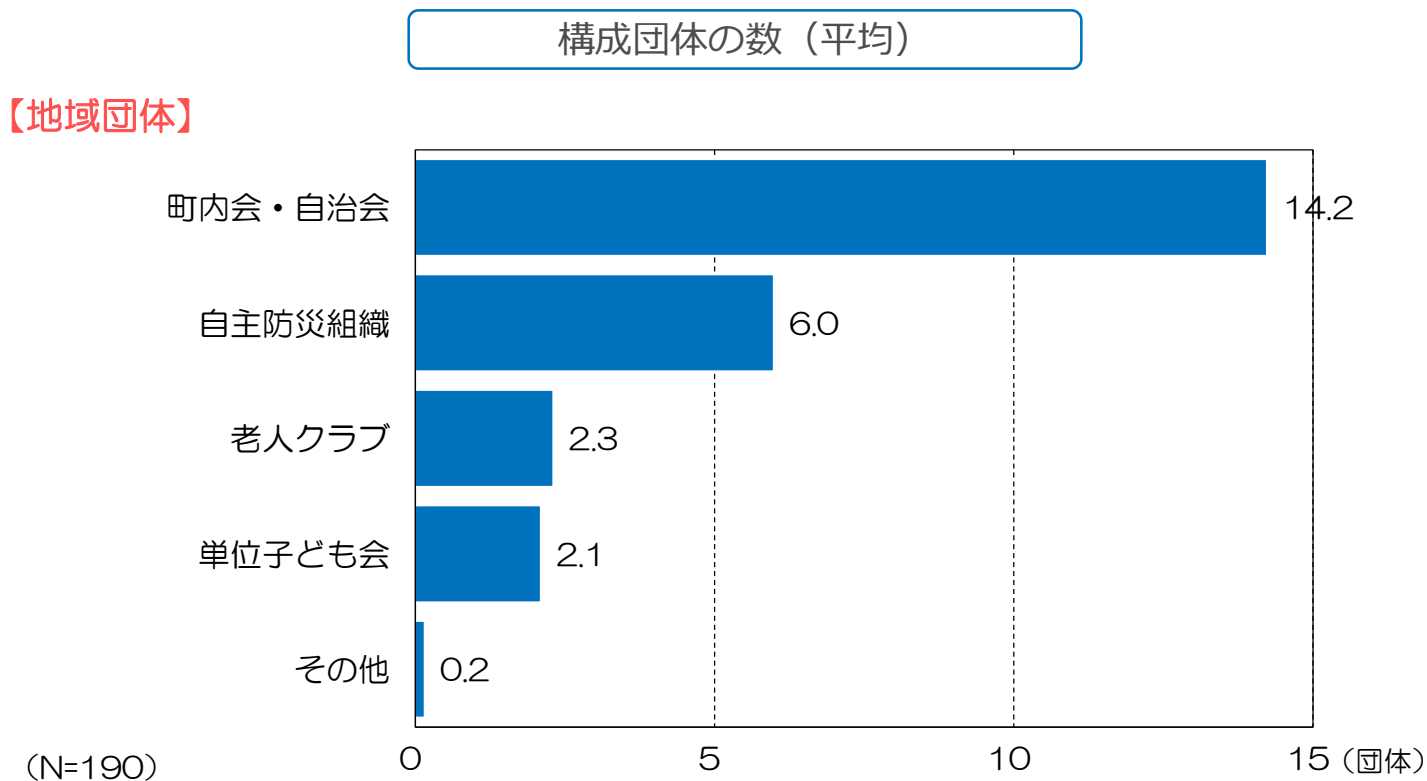


➤ 「防犯防災部」や「体育部」の設置が多い。平均部会数は4部会

2. 調査結果（ポイント）

町内会・自治会アンケート、地域団体アンケート

② 組織の現状・運営状況



- 構成団体における町内会・自治会の数は平均14団体。
- また、各種団体（青少協、公衛協、体協、学区子ども会等）の数は、平均14団体。

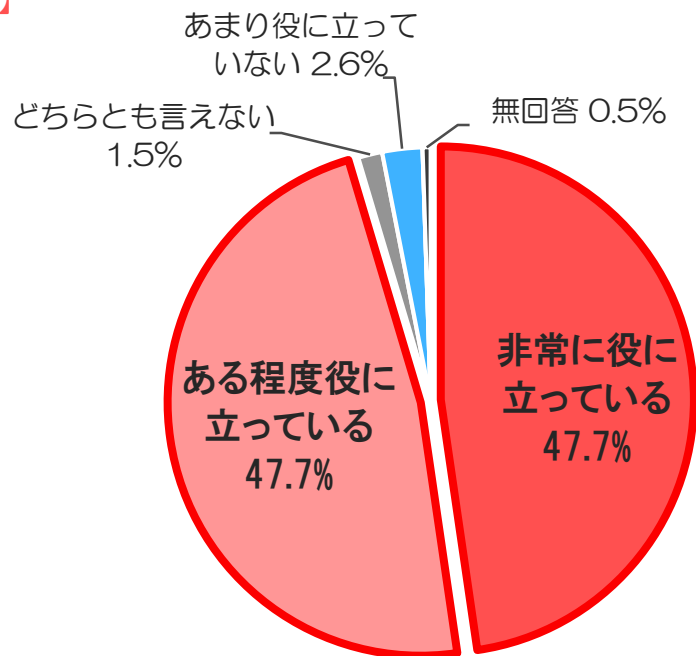
2.調査結果（ポイント）

町内会・自治会アンケート、地域団体アンケート

② 組織の現状・運営状況

役員会等の会合が団体間の情報共有や連携に役立つか

【地域団体】



➤ 「非常に役に立っている」「ある程度役に立っている」が95%を占めている。

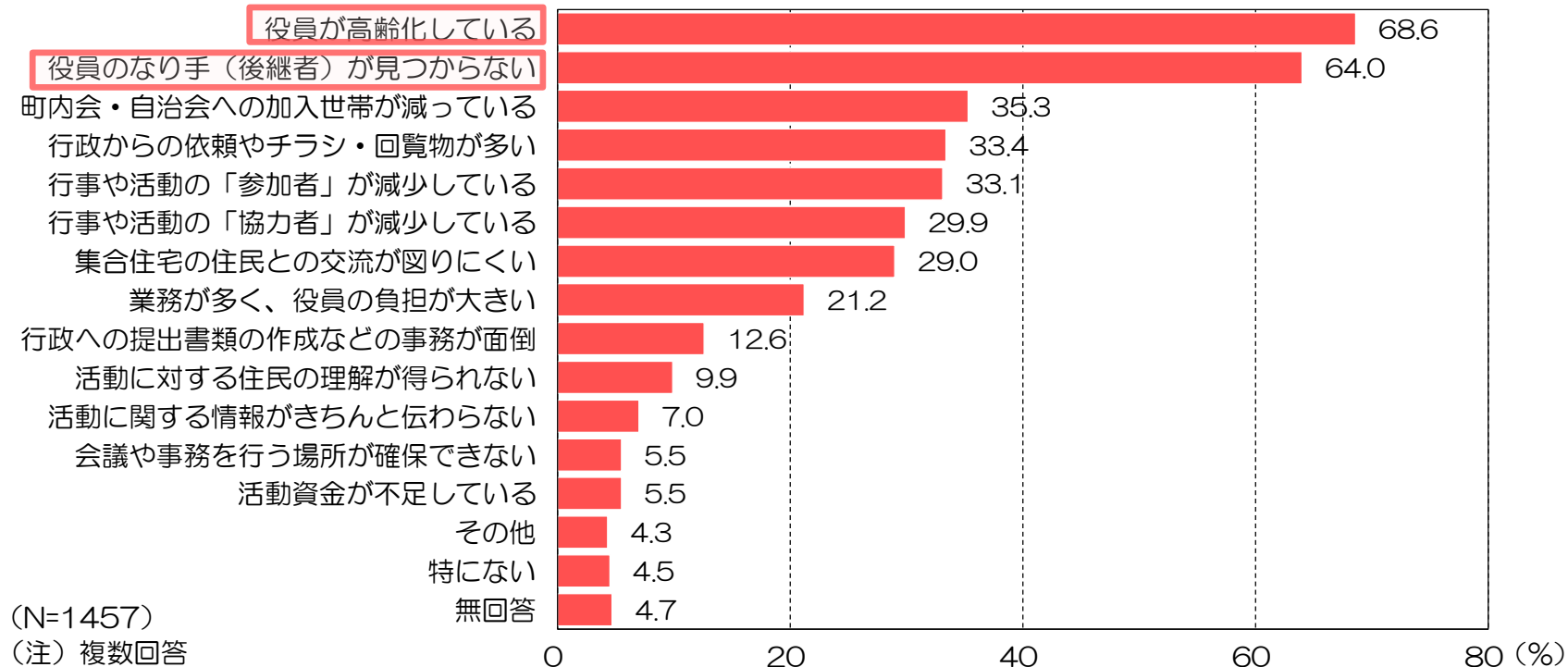
2.調査結果（ポイント）

町内会・自治会アンケート、地域団体アンケート

② 組織の現状・運営状況

運営する上で困っていること

【町内会・自治会】



➤ 町内会の運営上の課題は「役員の高齢化」「後継者不足」。(地域団体も「役員の高齢化」)

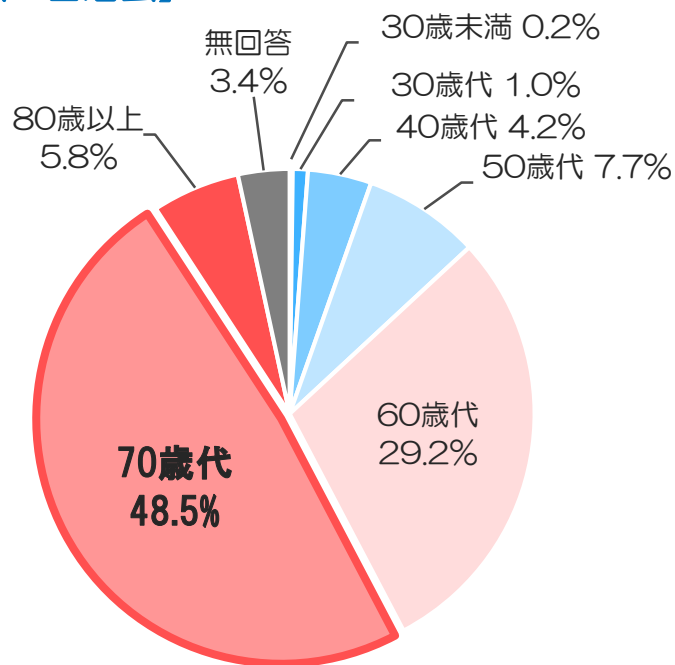
2. 調査結果（ポイント）

町内会・自治会アンケート、地域団体アンケート

③ 担い手の状況

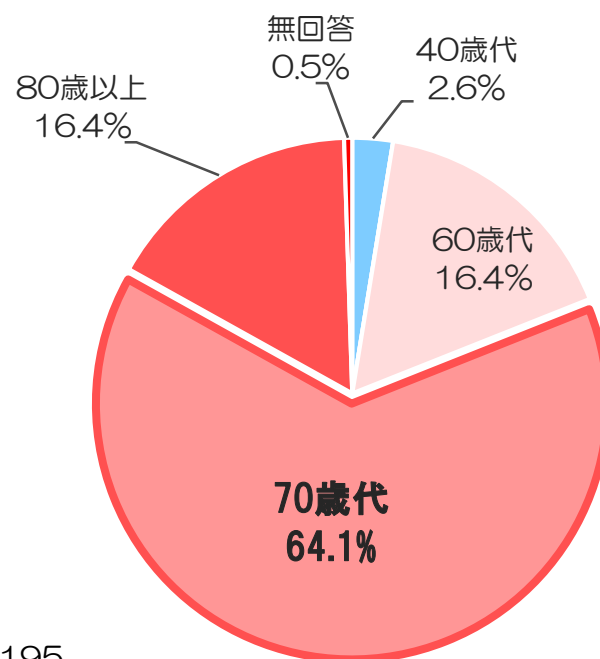
会長の年齢

【町内会・自治会】



N=1457

【地域団体】



N=195

- 町内会長の年齢は70代以上が5割、50代以下は1割程度。役員の年齢構成も同様の傾向。地域団体は70代以上が8割と、より年齢が高い。

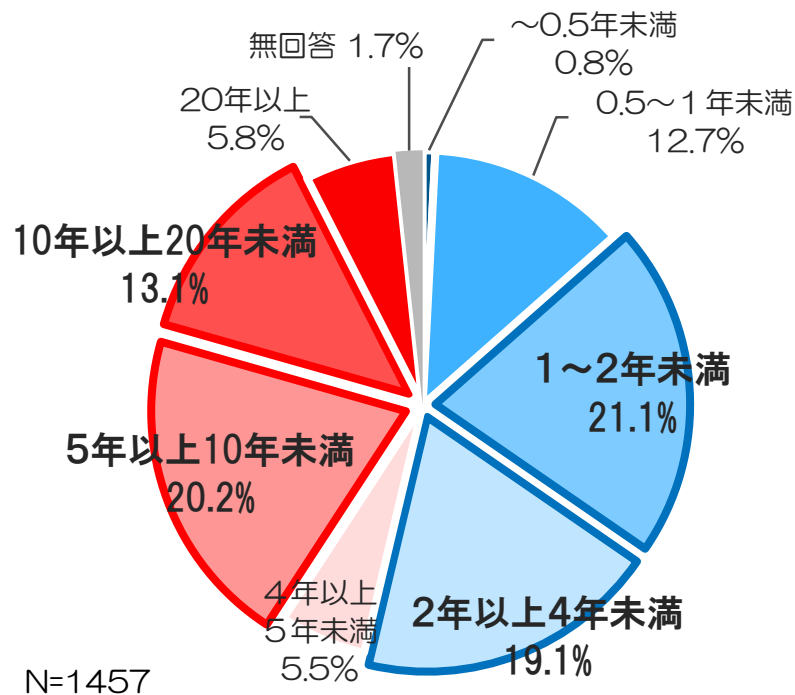
2.調査結果（ポイント）

町内会・自治会アンケート、地域団体アンケート

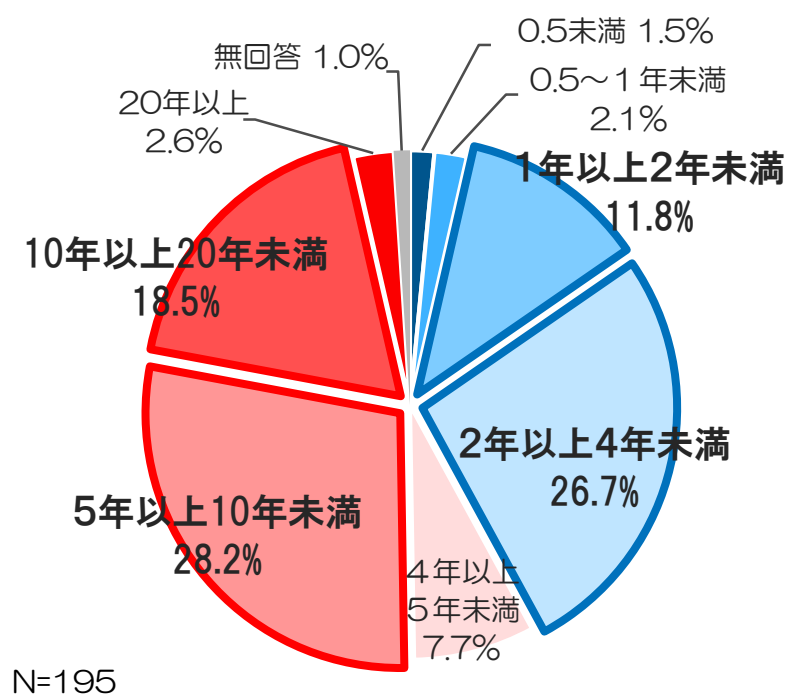
③ 担い手の状況

会長の就任年数

【町内会・自治会】



【地域団体】



➤ 町内会長の就任年数は「1～4年」と「5年以上」に二極分化。地域団体はより就任年数が長い。

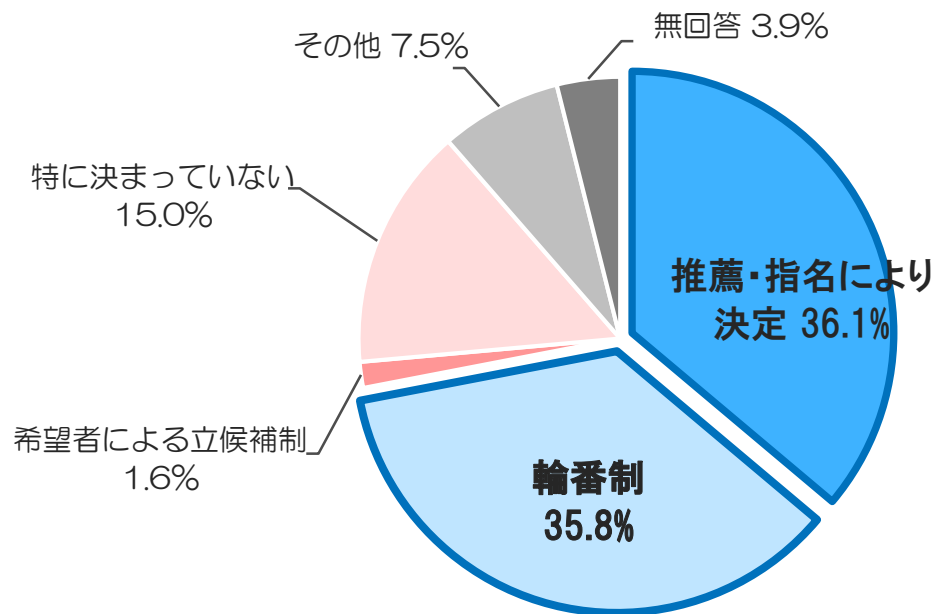
2.調査結果（ポイント）

町内会・自治会アンケート、地域団体アンケート

③ 担い手の状況

役員の決定方法

【町内会・自治会】



N=1457

➤ 「推薦・指名」と「輪番制」に2極分化している。

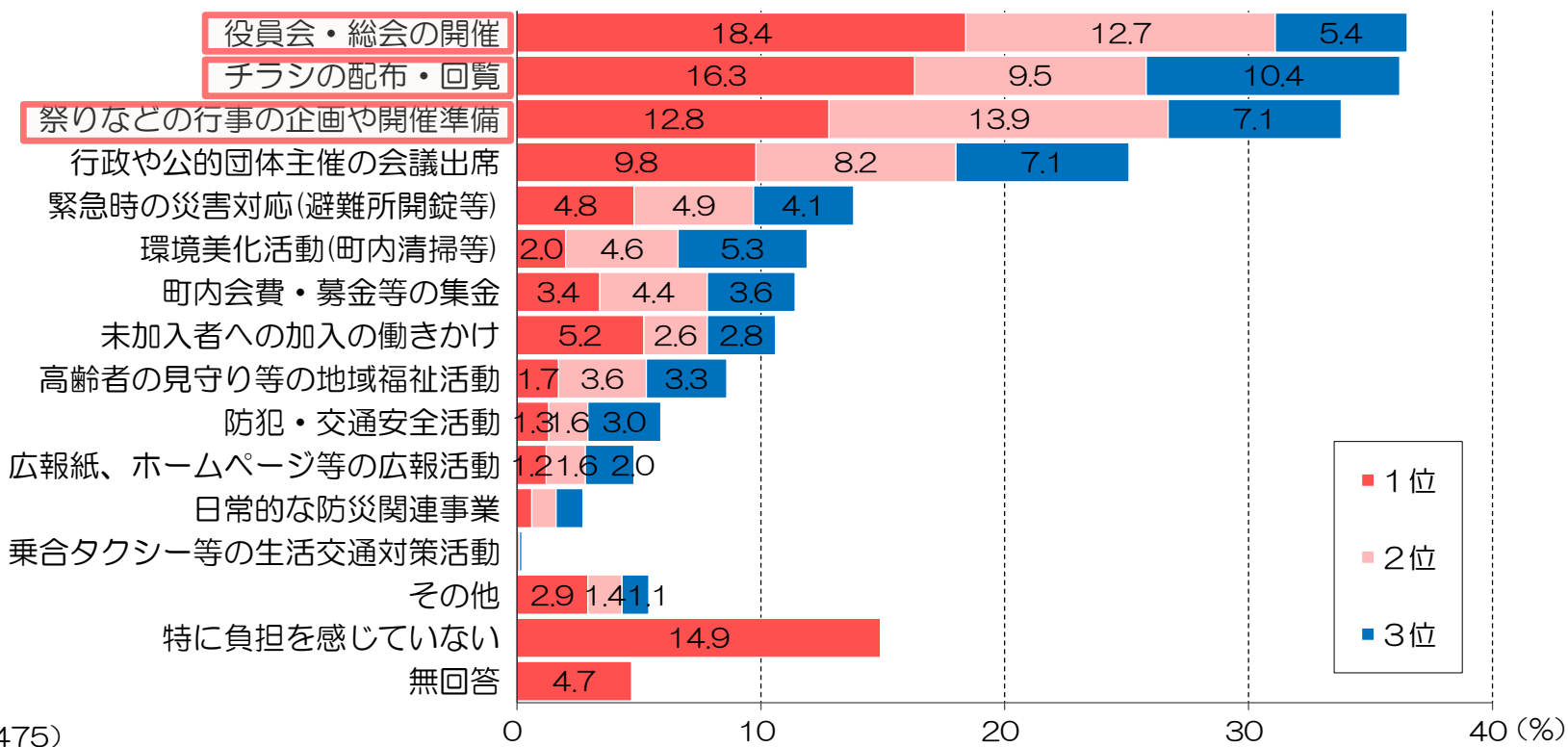
2. 調査結果 (ポイント)

町内会・自治会アンケート、地域団体アンケート

③ 担い手の状況

負担に感じる業務

【町内会・自治会】



(N=1475)

➤ 負担に感じる業務。町内会は「会議開催準備」「チラシの配布・回覧」の順。

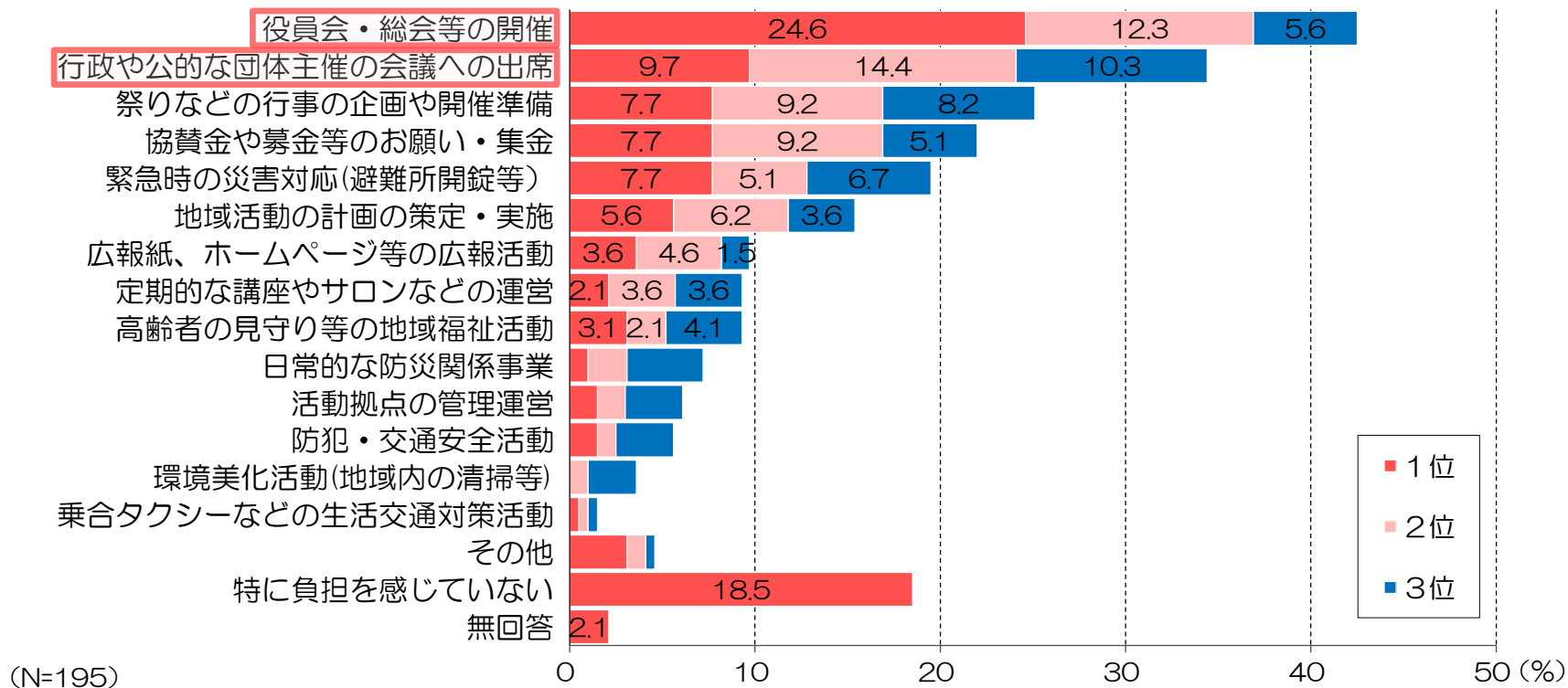
2. 調査結果（ポイント）

町内会・自治会アンケート、地域団体アンケート

③ 担い手の状況

負担に感じる業務

【地域団体】



➤ 負担に感じる業務。地域団体は「会議開催準備」の次に「行政などの会議出席」。

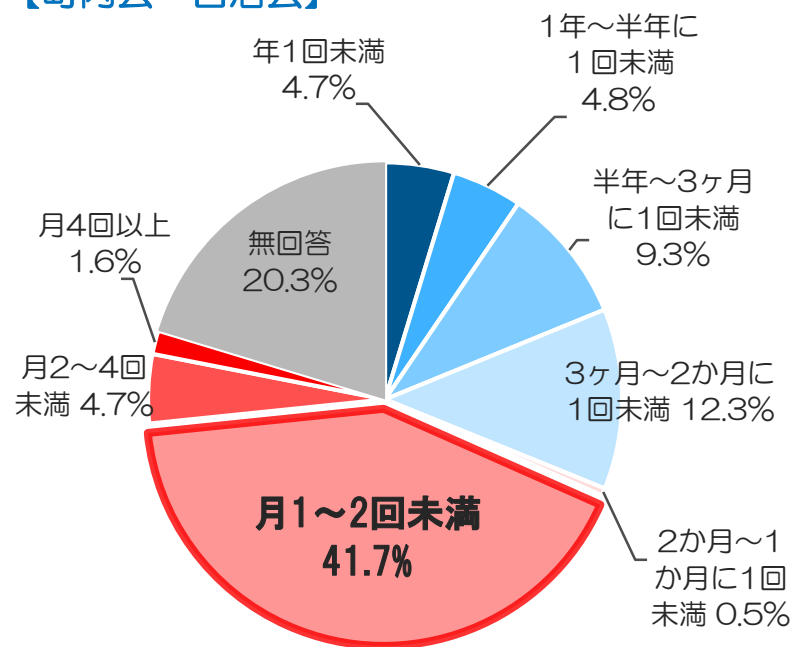
2. 調査結果（ポイント）

町内会・自治会アンケート、地域団体アンケート

③ 担い手の状況

会合の開催頻度

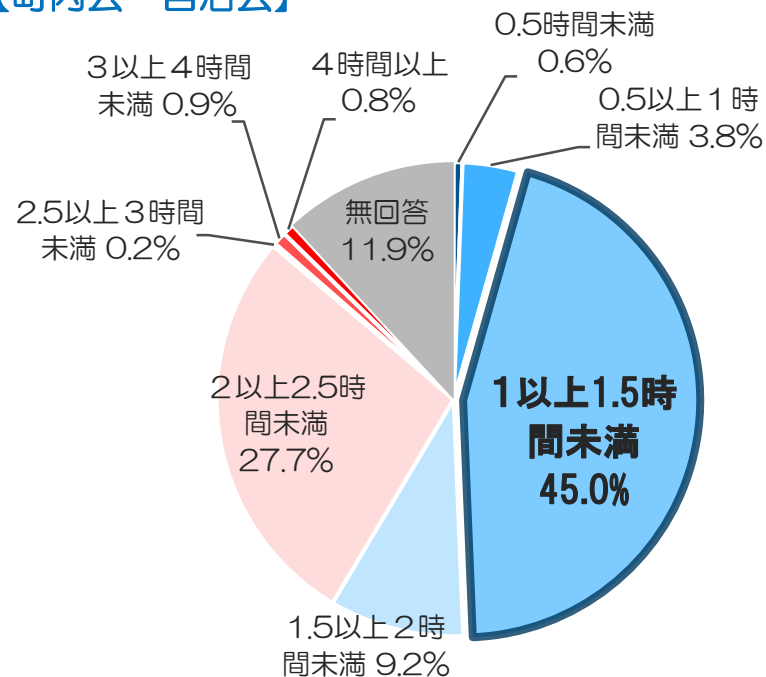
【町内会・自治会】



N=1457

1回あたり所用時間

【町内会・自治会】



N=1457

➤ 町内会では、会議の開催は月1～2回、所要時間は1回あたり1～1時間半がそれぞれ4割強。

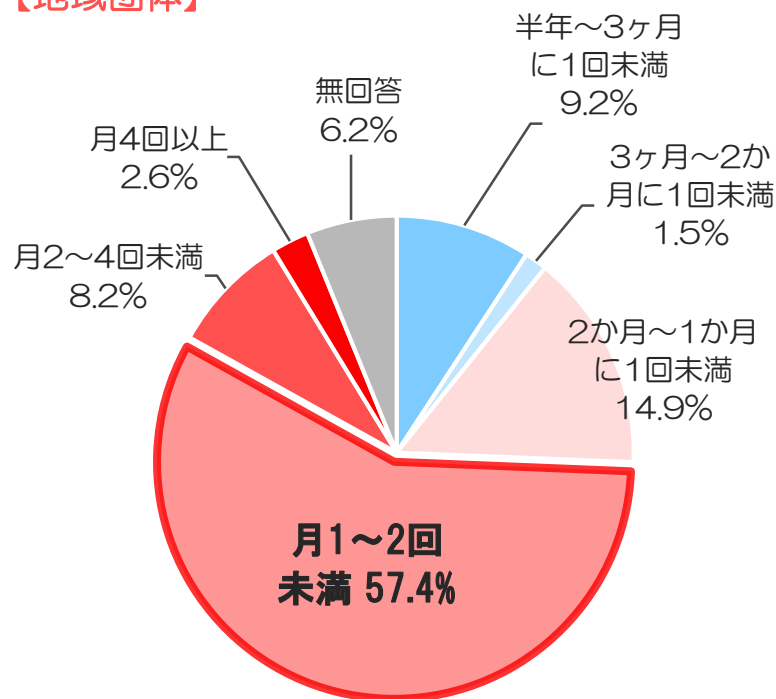
2.調査結果（ポイント）

町内会・自治会アンケート、地域団体アンケート

③ 担い手の状況

会合の開催頻度

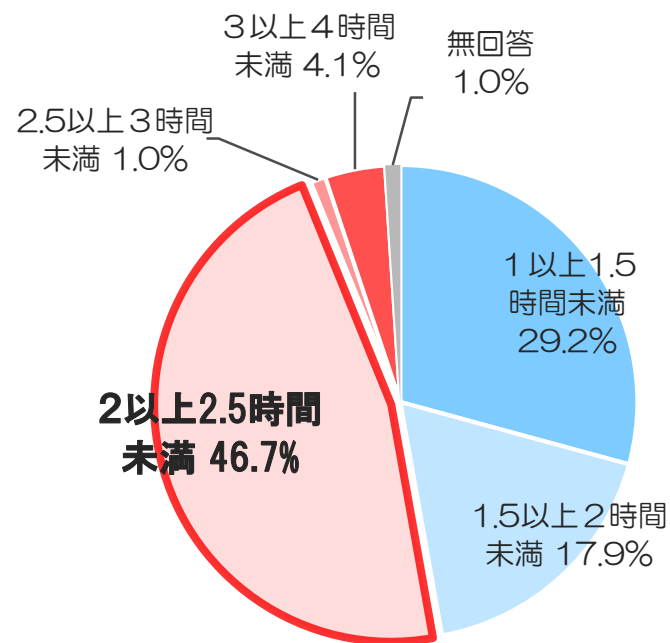
【地域団体】



N=195

1回あたり所用時間

【地域団体】



N=195

➤ 地域団体の会議の開催は月1～2回が6割弱、所要時間は1回あたり2～2時間半が5割弱。

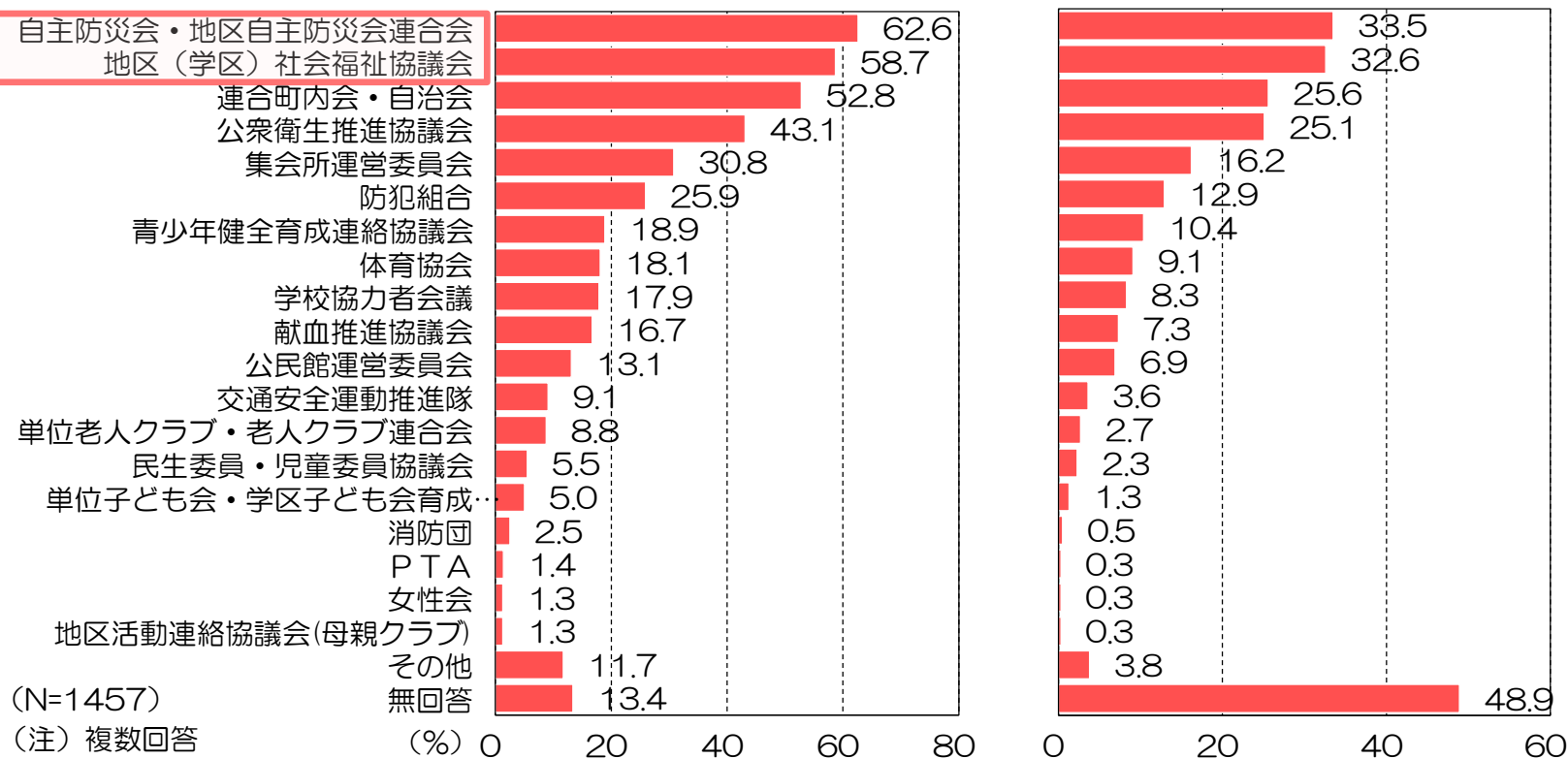
2.調査結果（ポイント）

町内会・自治会アンケート、地域団体アンケート

③ 担い手の状況

兼任している地域団体の役員

【町内会・自治会】



➤ 町内会長は自主防災組織、地区社協との兼任が多い。兼任数の平均は4.7役、うち充て職は4.0役

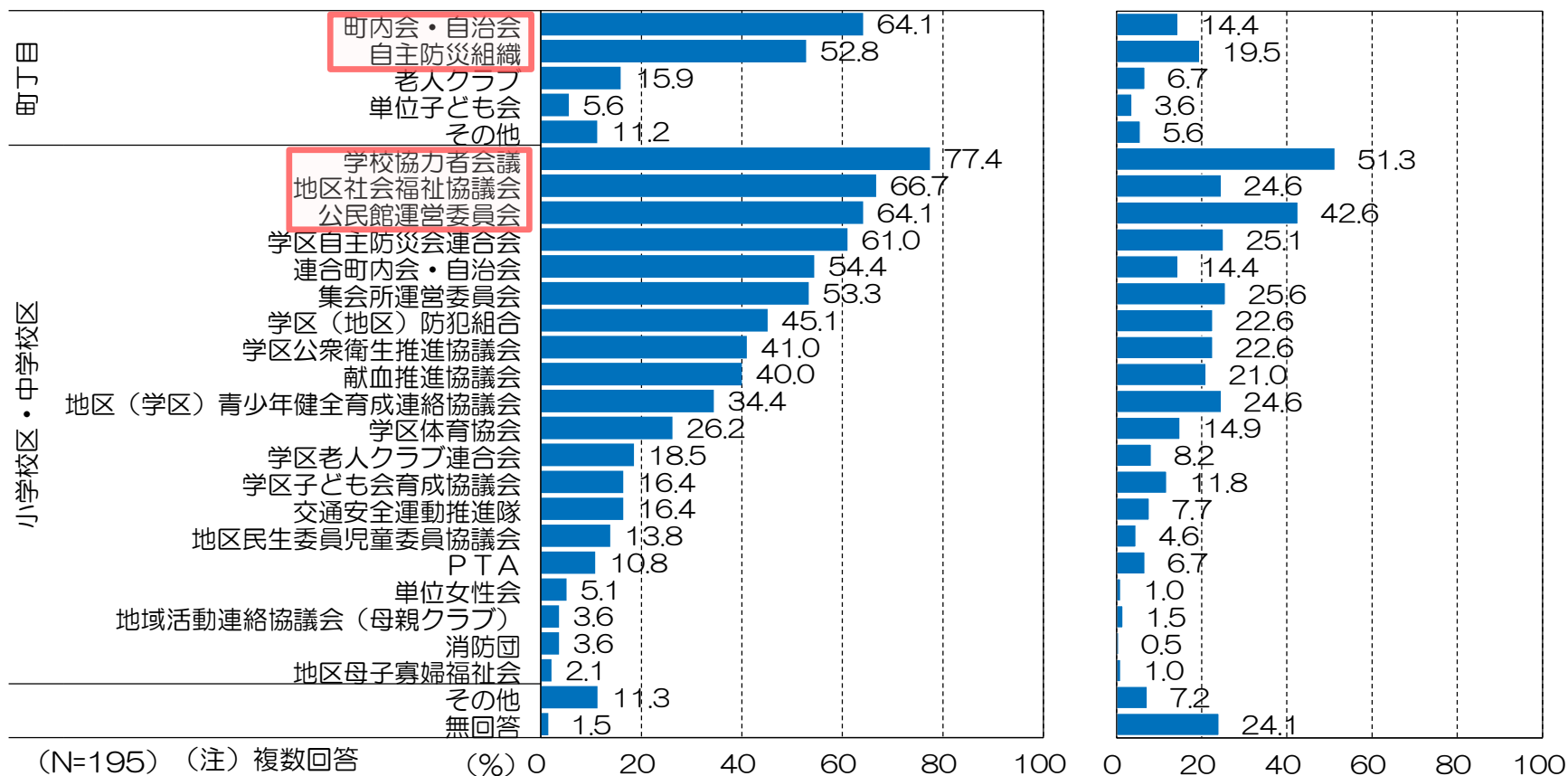
2. 調査結果 (ポイント)

町内会・自治会アンケート、地域団体アンケート

③ 担い手の状況

兼任している地域団体の役員

【地域団体】



➤ 地域団体の会長は町内会長や自主防災組織、学校協力者会議、地区社協、公民館運営委員会との兼任が多い。兼任数の平均は6.8役、うち充て職は4.5役

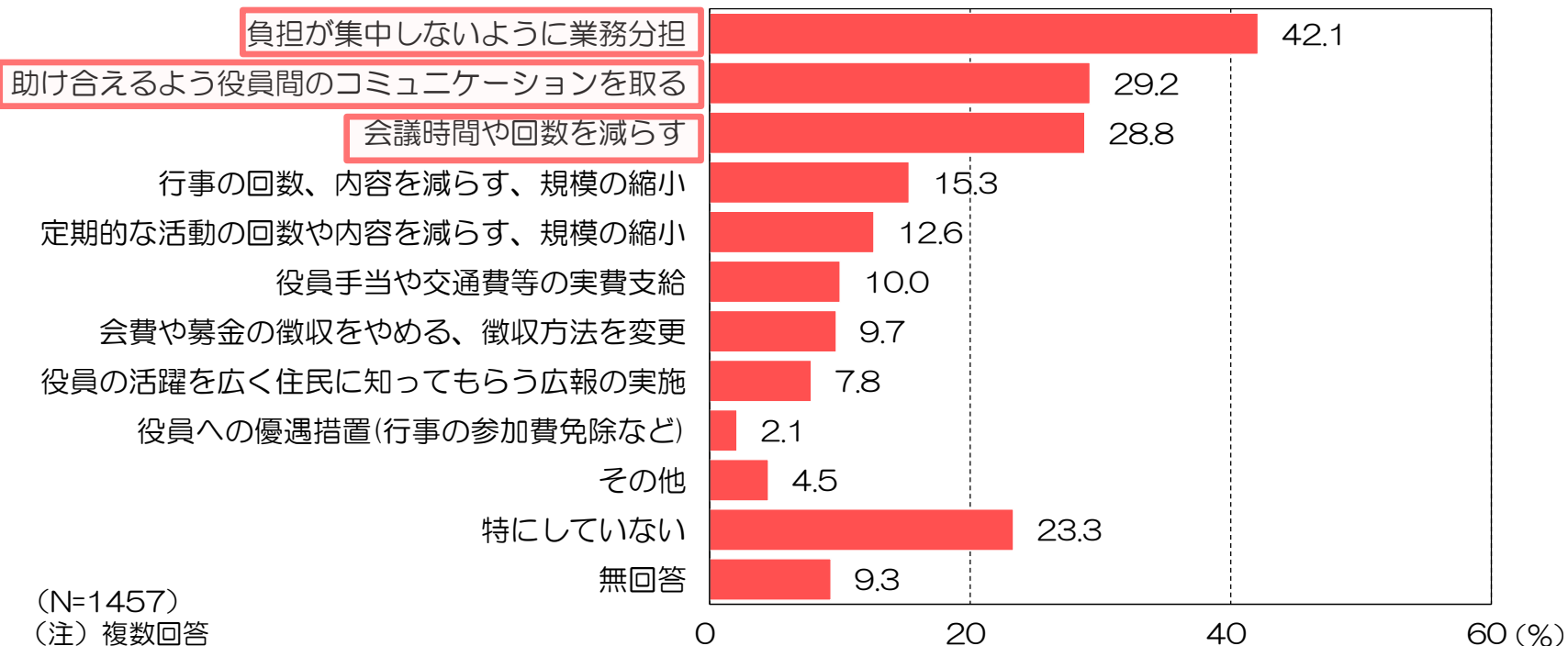
2.調査結果（ポイント）

町内会・自治会アンケート、地域団体アンケート

③ 担い手の状況

役員負担軽減のために行っている取組

【町内会・自治会】

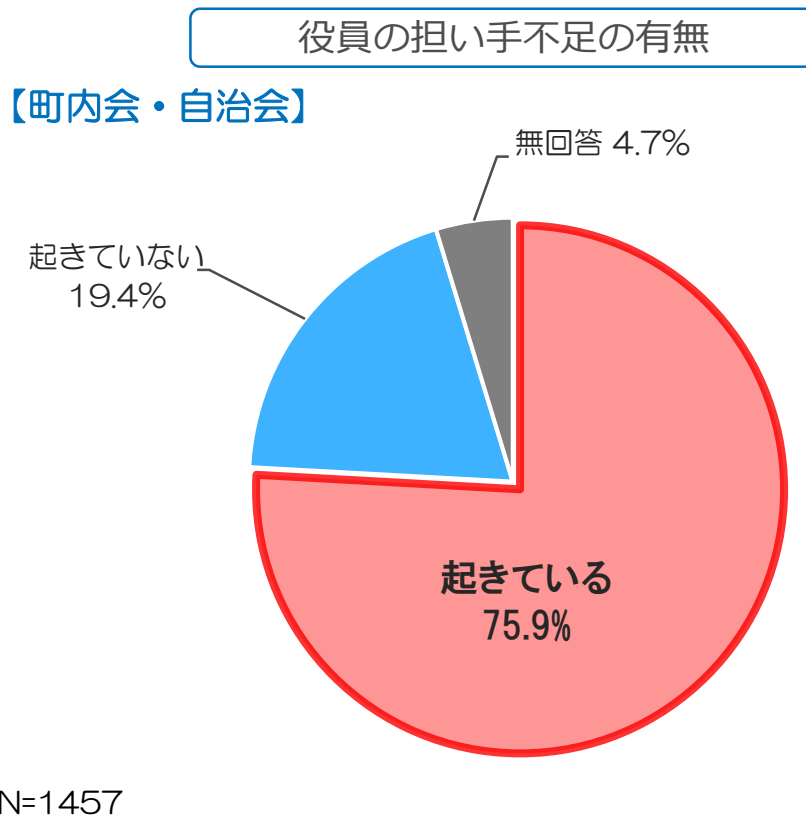


➤ 「負担が集中しないように業務分担する」が最も多く、次いで「役員間のコミュニケーションを取る」「会費時間や回数を減らす」の順となっている。

2.調査結果（ポイント）

町内会・自治会アンケート、地域団体アンケート

③ 担い手の状況



➤ 担い手不足が「起きている」が8割を占めている。

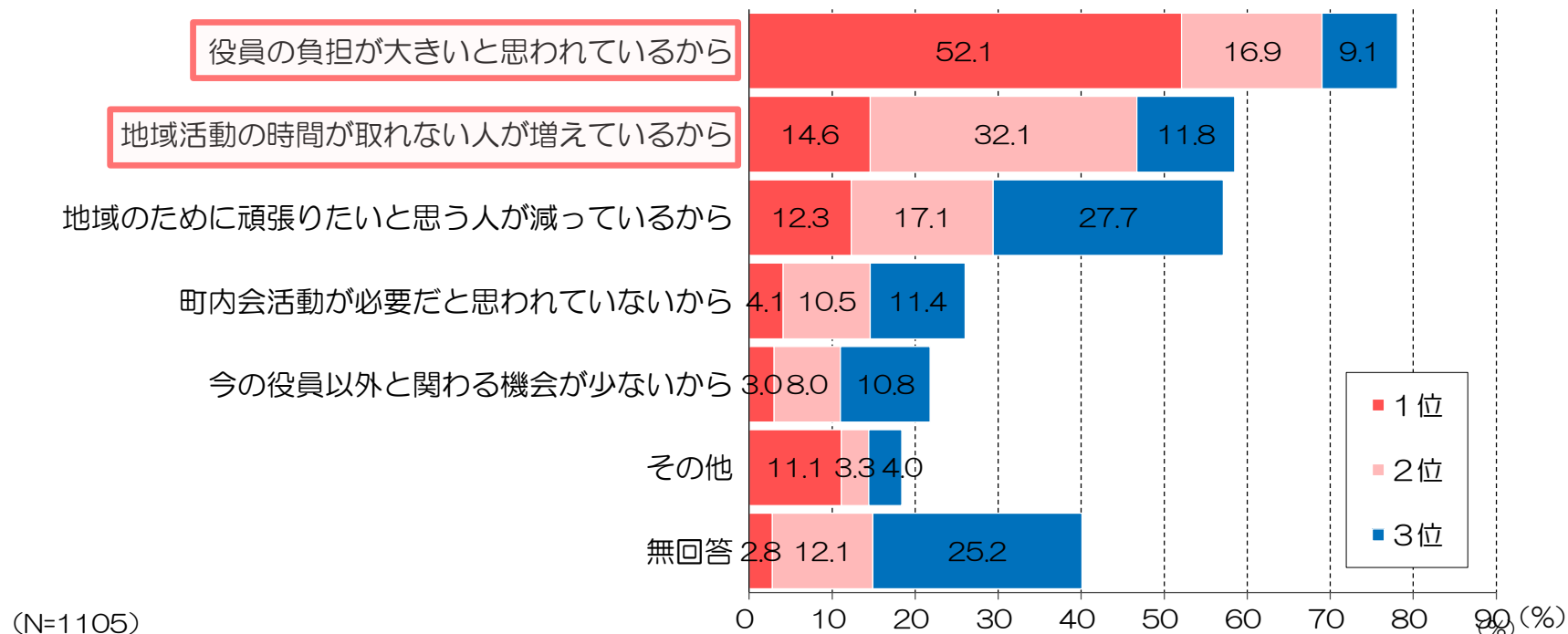
2.調査結果（ポイント）

町内会・自治会アンケート、地域団体アンケート

③ 担い手の状況

担い手不足の要因

【町内会・自治会】



- 町内会の担い手不足の原因は、「役員の負担が大きいとされているから」「時間時間が取れない人が増えている」「地域のために頑張りたい人が減っている」の3つが多い。

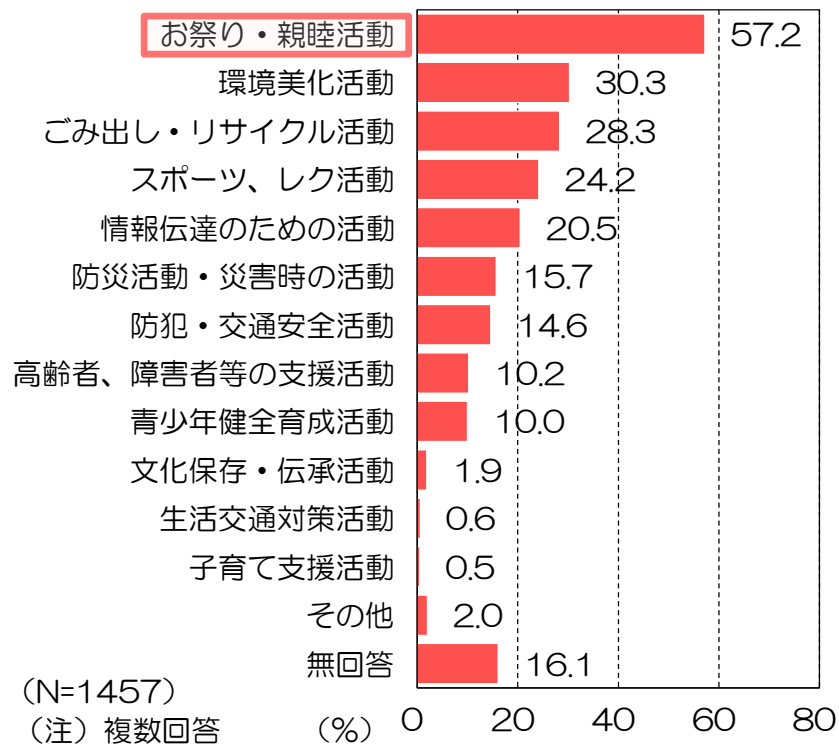
2.調査結果（ポイント）

町内会・自治会アンケート、地域団体アンケート

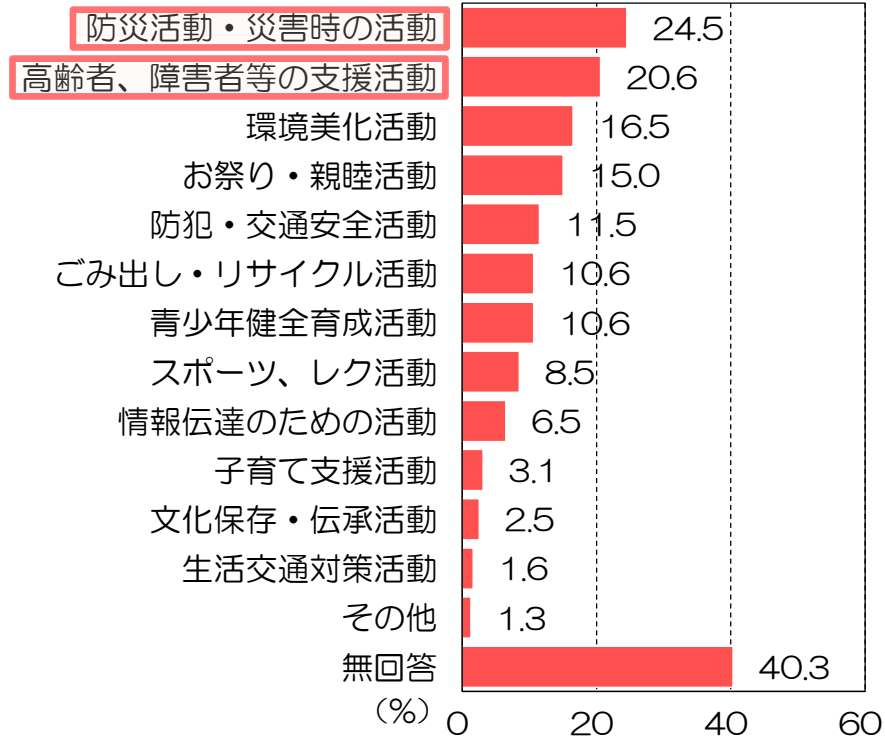
④ 地域活動の状況

注力している活動、充実させたい活動【町内会・自治会】

【注力している活動】



【充実させたい活動】



➤ 町内会が注力している活動は「お祭り・親睦活動」が多い。今後充実させたい活動は「防災活動」「高齢者等の支援活動」が多い。

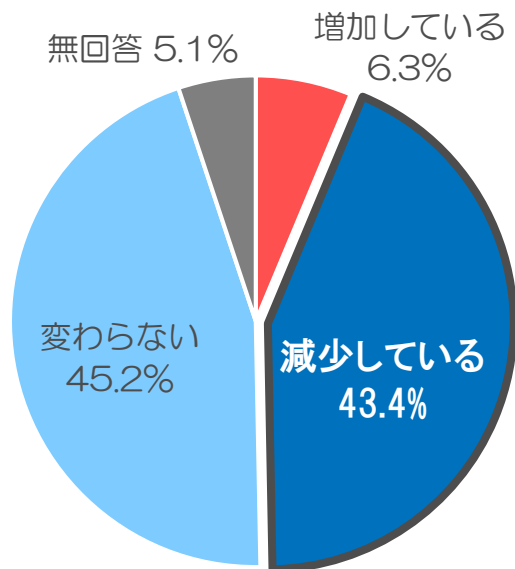
2. 調査結果（ポイント）

町内会・自治会アンケート、地域団体アンケート

④ 地域活動の状況

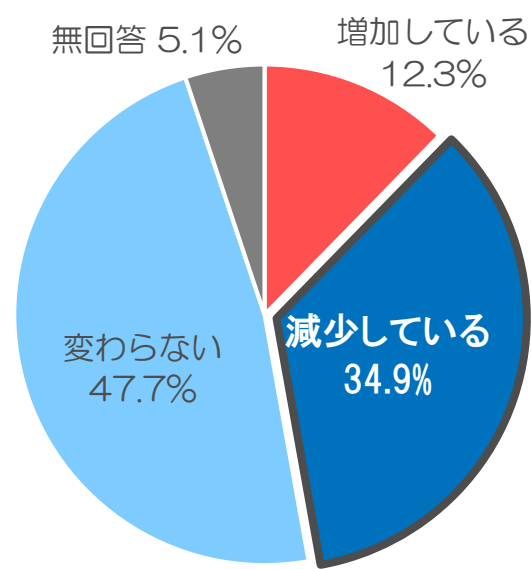
活動への参加者数

【町内会・自治会】



N=1457
(%)

【地域団体】



N=195
(%)

▶ 参加者は減少傾向。

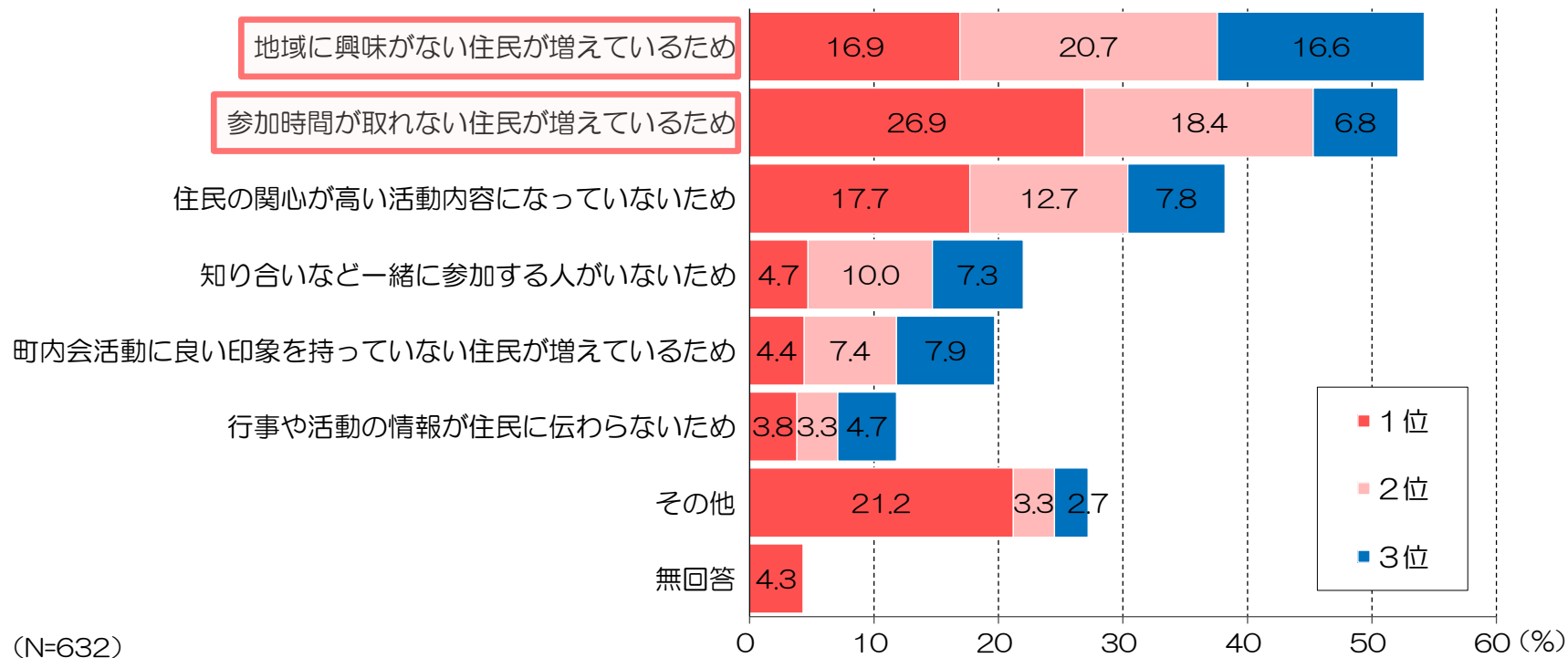
2.調査結果（ポイント）

町内会・自治会アンケート、地域団体アンケート

④ 地域活動の状況

参加者が減少している理由

【町内会・自治会】



➤ 町内会の減少理由は「地域に興味がない住民が増加」「時間が取れない住民が増加が多い。」

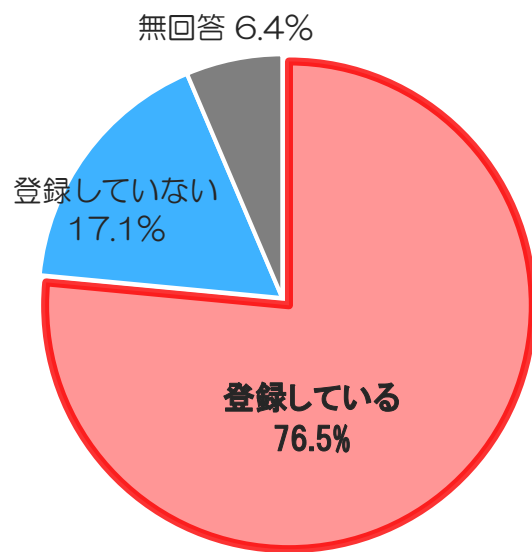
2.調査結果（ポイント）

町内会・自治会アンケート、地域団体アンケート

④ 地域活動の状況

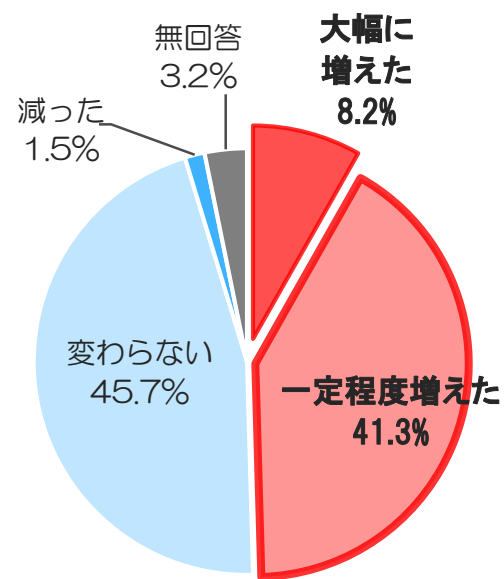
高齢者いきいき活動ポイント事業への登録状況

【町内会・自治会】



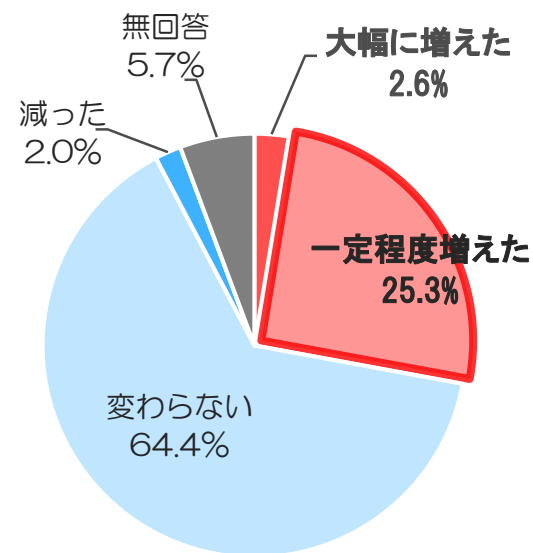
N=1457

(登録による活動参加者の増減)



N=1115

(登録による活動協力者の増減)



N=1115

- ▶ 8割弱の町内会が登録している。このうち、登録後に活動参加者が増えた団体が約半数。また、担い手が増えた団体も3割弱。

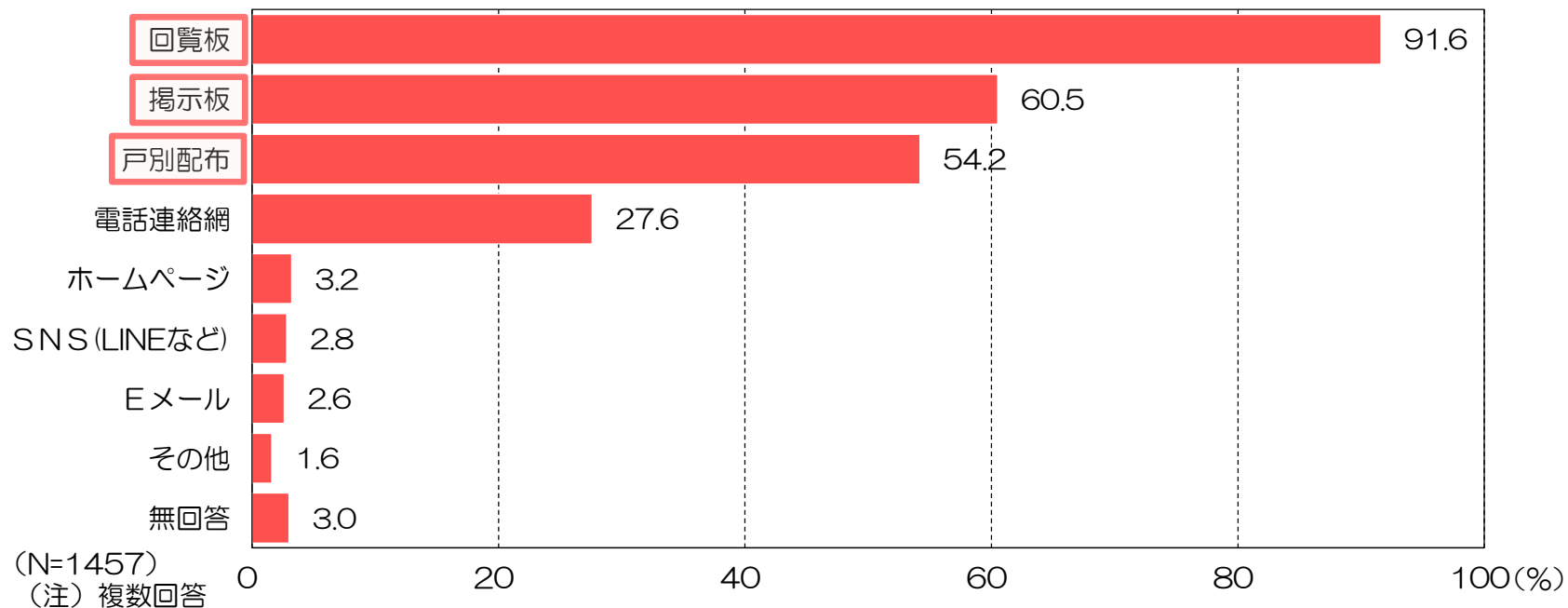
2.調査結果（ポイント）

町内会・自治会アンケート、地域団体アンケート

⑥ 広報及び情報伝達の状況

活動の広報手段

【町内会・自治会】



➤ 町内会の広報は「回覧板」が9割以上、「掲示板」「戸別配布」が6割程度と紙媒体が中心。HPやSNS等の電子媒体は3%程度。

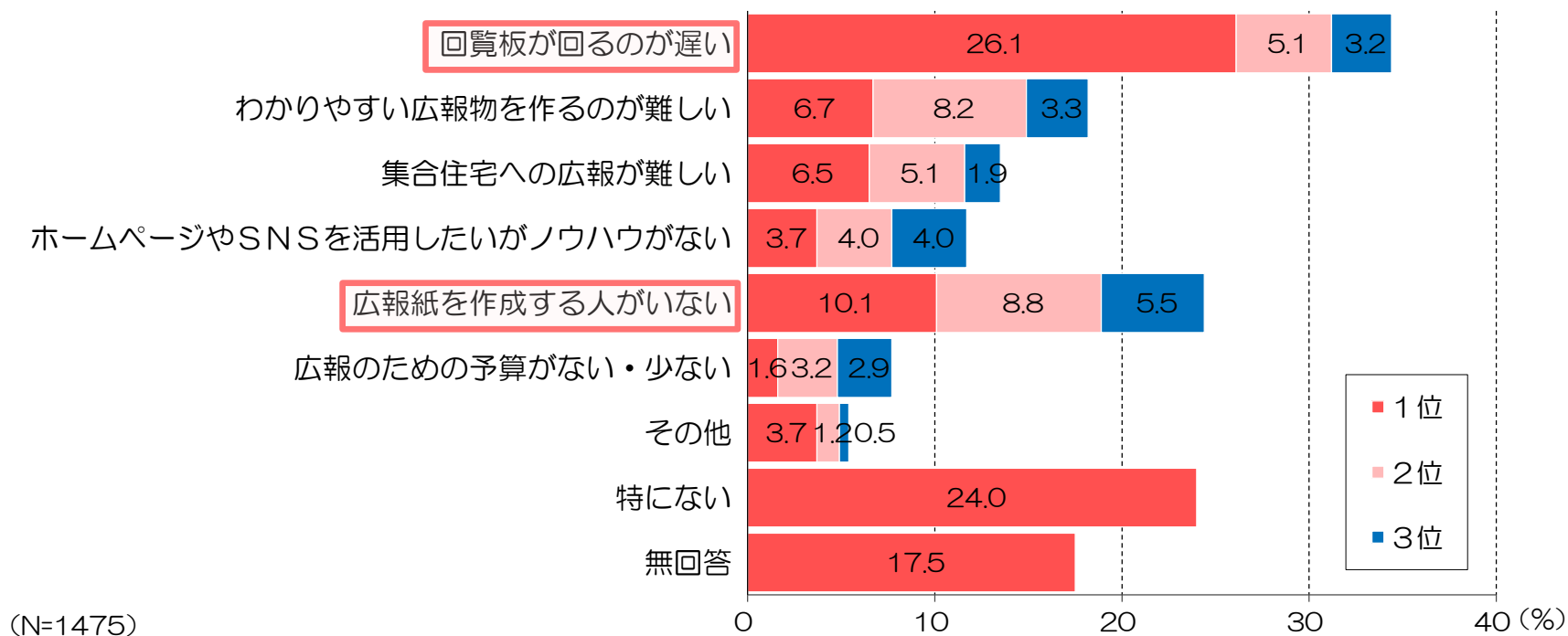
2.調査結果（ポイント）

町内会・自治会アンケート、地域団体アンケート

⑥ 広報及び情報伝達の状況

情報の伝達手段や広報活動に関する課題

【町内会・自治会】



➤ 「回覧板が回るのが遅い」が多い。

2.調査結果（ポイント）

町内会・自治会アンケート、地域団体アンケート

⑥ 広報及び情報伝達の状況

電子媒体を活用するメリット・デメリット

メリット

- 情報伝達が早い
 - 簡単に伝えられる
 - 伝達記録が確認できる
 - 緊急時に役立つ
- など

デメリット

- 更新ができる人が限られる
 - 作業が面倒
 - 使えない人がいる
- など

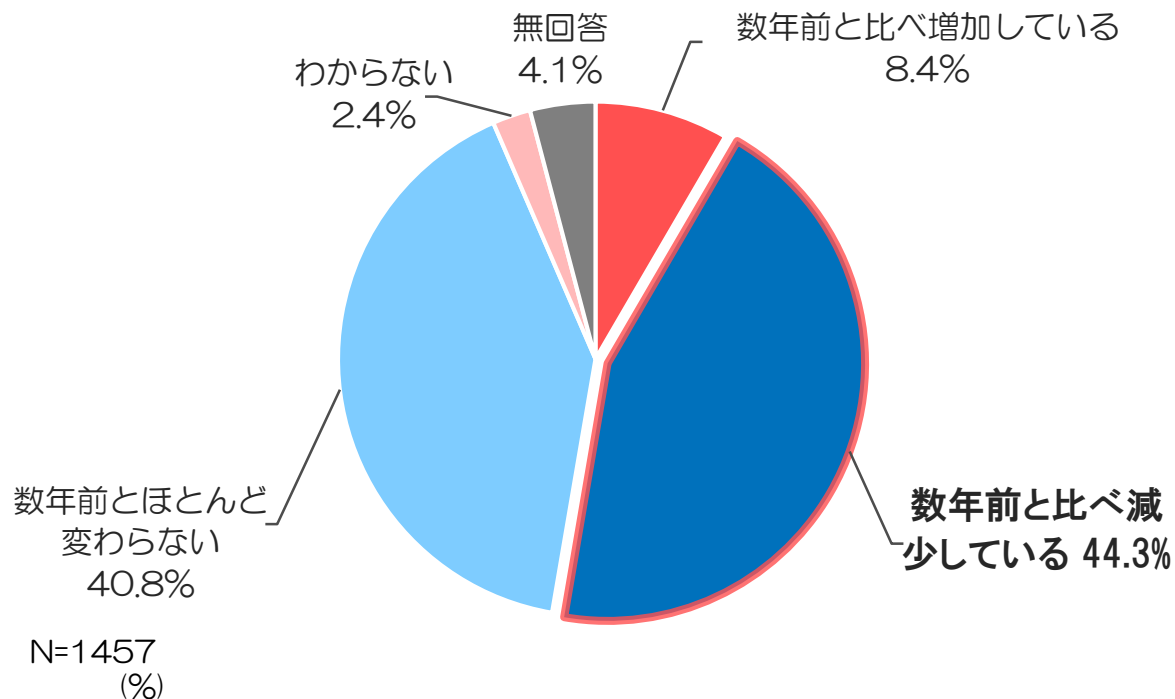
2.調査結果（ポイント）

町内会・自治会アンケート、地域団体アンケート

⑦ 町内会・自治会への加入状況

町内会・自治会の加入世帯数の増減状況

【町内会・自治会】



➤ 加入世帯数は「減少」が4割強、変動なしが「4割」、「増加」は1割未満。

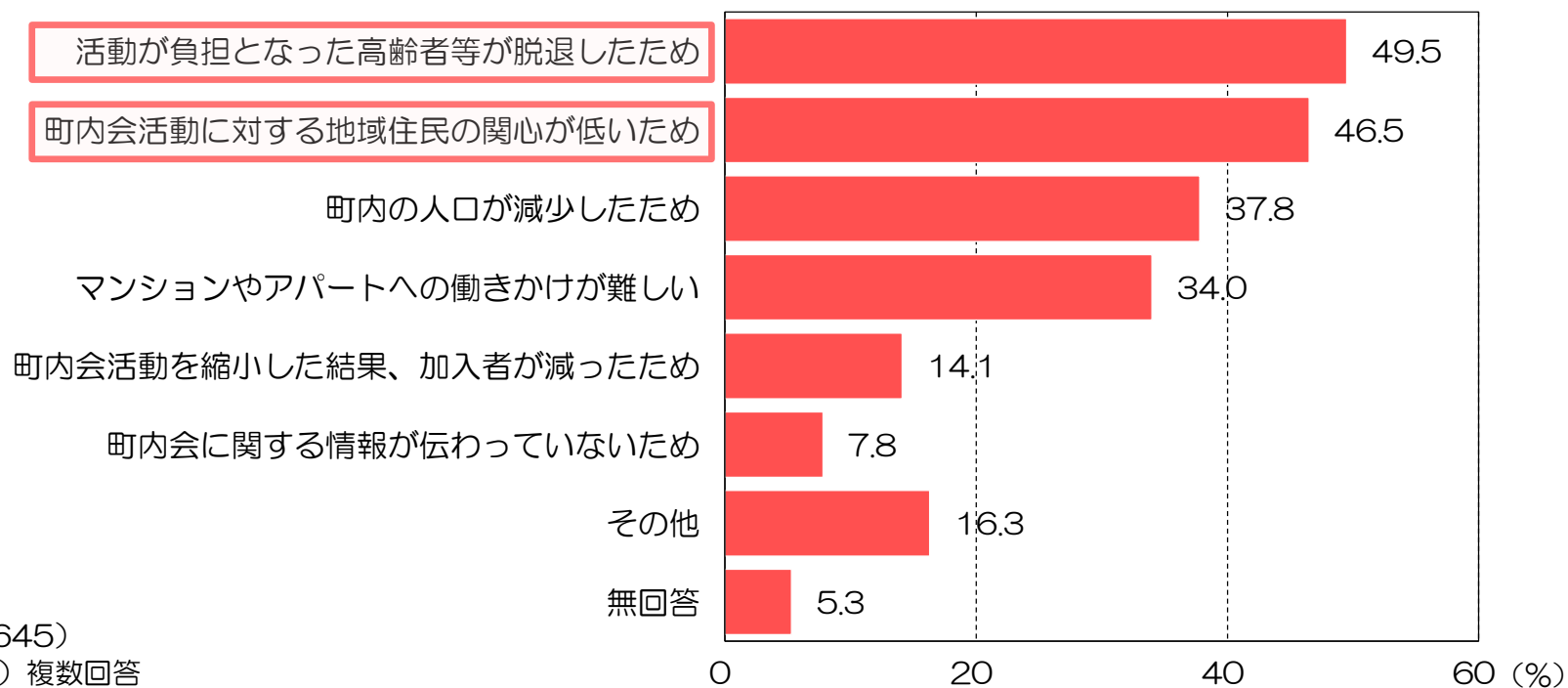
2.調査結果（ポイント）

町内会・自治会アンケート、地域団体アンケート

⑦ 町内会・自治会への加入状況

加入世帯数の減少した理由

【町内会・自治会】



➤ 減少理由は「高齢者の脱退」「地域住民の関心が低い」が同程度。

2.調査結果（ポイント）

町内会・自治会アンケート、地域団体アンケート

⑦ 町内会・自治会への加入状況

加入世帯数の減少した理由（世帯数別）

【町内会・自治会】

	町内会活動に対する地域住民の関心が低い ため	マンションや アパートへの 働きかけが難 しい	町内会に関す る情報が伝 わっていない ため	活動が負担と なった高齢者 等が脱退した ため	町内会活動を 縮小した結 果、加入者が 減ったため	町内の人口が 減少したため	その他
全体	46.5	34.0	7.8	49.5	14.1	37.8	16.3
10世帯未満	8.3	-	-	29.2	8.3	79.2	8.3
10～30世帯未満	18.8	11.5	2.1	37.5	10.4	62.5	15.6
30～50世帯未満	37.9	22.4	3.4	39.7	13.8	50.0	6.9
50～100世帯未満	38.7	25.8	4.3	50.5	22.6	34.4	17.2
100～150世帯未満	57.3	32.6	5.6	42.7	19.1	38.2	22.5
150～200世帯未満	61.9	47.6	15.9	52.4	7.9	23.8	20.6
200～500世帯未満	62.6	51.6	12.3	64.5	14.8	27.1	16.1
500～700世帯未満	52.4	52.4	14.3	71.4	9.5	19.0	9.5
700～1000世帯未満	73.3	73.3	6.7	60.0	6.7	-	33.3
1000世帯以上	50.0	33.3	33.3	50.0	-	33.3	-

- 世帯数が多い地域は、「関心の低さ」や「集合住宅への働きかけの困難さ」などが多く、世帯数が少ない地域は「人口減少」が多い。

2.調査結果（ポイント）

町内会・自治会アンケート、地域団体アンケート

⑦ 町内会・自治会への加入状況

運営上の困りごと（加入率別）

【町内会・自治会】

	役員の なり手 （後継 者）が 見つか らない	役員が 高齢化 してい る	業務が 多く、 役員の 負担が 大きい	会議や 事務を 行う場 所（活 動拠 点）が 確保で きない	活動資 金が不 足して いる	行政へ の提出 書類の 作成な どの事 務が面 倒	行政か らの依 頼やチ ラシ・ 回覧物 が多い	行事や 活動の 「参加 者」が 減少し ている	行事や 活動の 「協力 者」が 減少し ている	町内 会・自 治会へ の加入 世帯が 減って いる	町内会 活動に 関する 情報が きちん と伝わ らない	町内会 活動に 対する 地域住 民の理 解が得 られない	集合住 宅の住 民との 交流が 図りに くい	その他	特にな い
全体	64.0	68.6	21.2	5.5	5.5	12.6	33.4	33.1	29.9	35.3	7.0	9.9	29.0	4.3	4.5
10%未満	81.8	72.7	27.3	-	9.1	18.2	54.5	27.3	27.3	36.4	9.1	9.1	36.4	9.1	9.1
10～20%未満	73.3	66.7	13.3	13.3	13.3	6.7	26.7	40.0	33.3	73.3	-	6.7	53.3	-	-
20～30%未満	64.0	48.0	16.0	4.0	16.0	12.0	20.0	32.0	28.0	60.0	16.0	20.0	64.0	-	8.0
30～40%未満	67.6	78.4	18.9	8.1	-	10.8	35.1	35.1	32.4	78.4	8.1	27.0	62.2	-	-
40～50%未満	88.0	80.0	20.0	2.0	12.0	10.0	32.0	20.0	30.0	76.0	14.0	14.0	64.0	10.0	-
50～60%未満	73.7	76.3	21.2	5.9	5.9	11.9	40.7	41.5	42.4	68.6	6.8	10.2	59.3	10.2	1.7
60～70%未満	72.7	67.7	20.2	6.1	6.1	10.1	40.4	38.4	37.4	57.6	13.1	14.1	52.5	9.1	1.0
70～80%未満	59.5	67.9	20.6	9.9	9.9	11.5	32.1	31.3	29.8	46.6	4.6	13.0	40.5	2.3	1.5
80～90%未満	67.5	68.2	20.4	3.8	1.9	12.7	35.7	28.0	28.7	42.7	6.4	7.6	31.2	3.2	2.5
90～95%未満	62.8	70.9	28.4	5.4	4.7	16.9	36.5	38.5	29.1	25.0	10.1	10.8	18.9	2.0	2.0
95～100%未満	63.3	68.8	23.1	5.9	5.0	12.7	32.6	33.5	24.9	11.8	5.4	7.7	7.2	5.4	6.8
100%	51.2	62.7	16.4	4.9	3.8	13.9	29.3	31.4	26.8	8.0	3.8	4.5	7.0	3.1	11.1

▶ 加入率の低い町内会では、「集合住宅との交流の図りにくさ」の割合が高い。

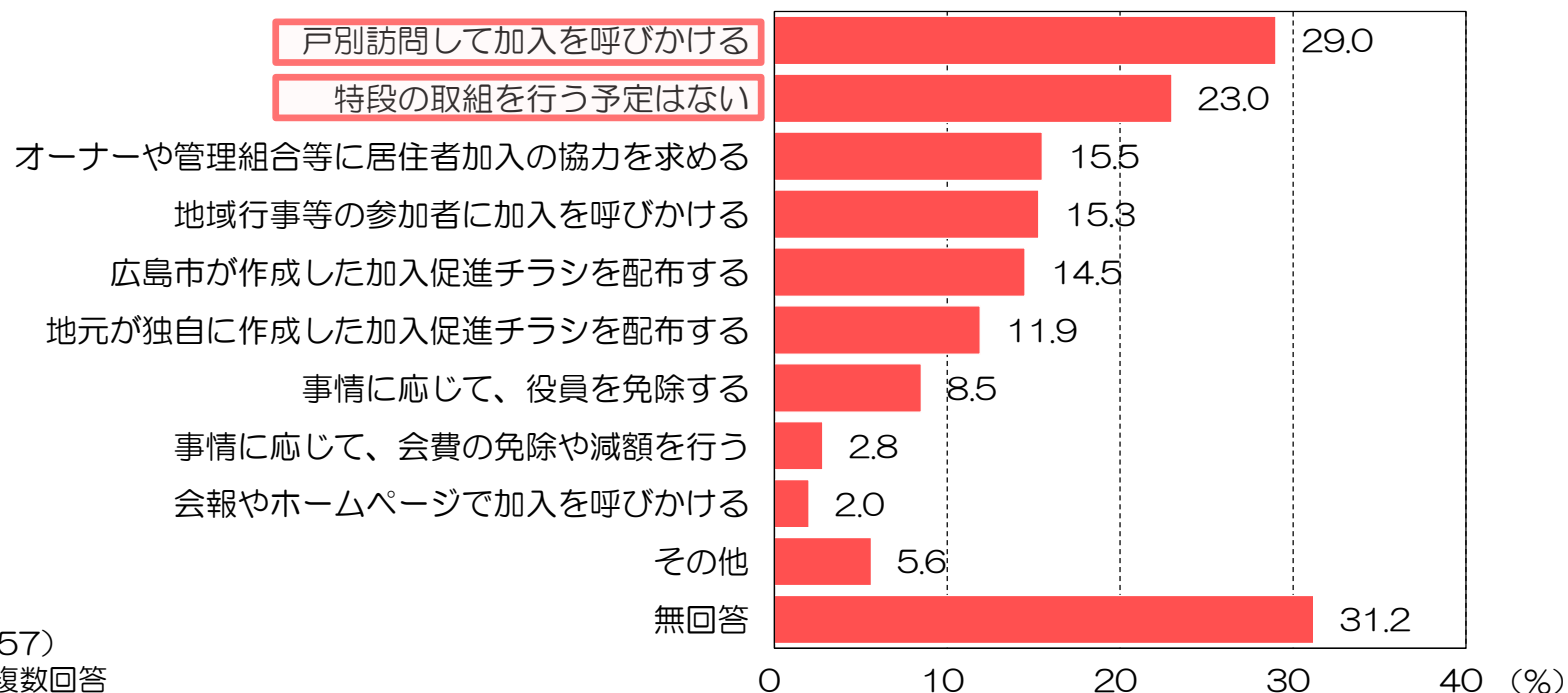
2.調査結果（ポイント）

町内会・自治会アンケート、地域団体アンケート

⑦ 町内会・自治会への加入状況

未加入者の加入促進のために行っている取組

【町内会・自治会】



(N=1457)

(注) 複数回答

- 加入促進の取組は「役員の戸別訪問」が多い。一方で「取組を行う予定はない」も多い。その理由として、「勧誘による住民との関係悪化」「町内会の存在意義、メリットが説明できない」などの意見が多い。

市民意識アンケート結果

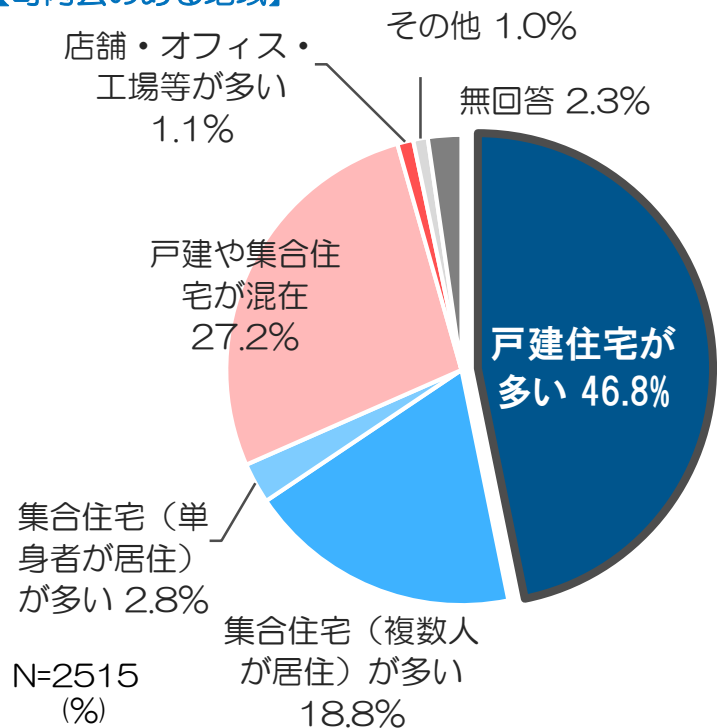
2.調査結果（ポイント）

市民意識アンケート（町内会のある地域・ない地域）

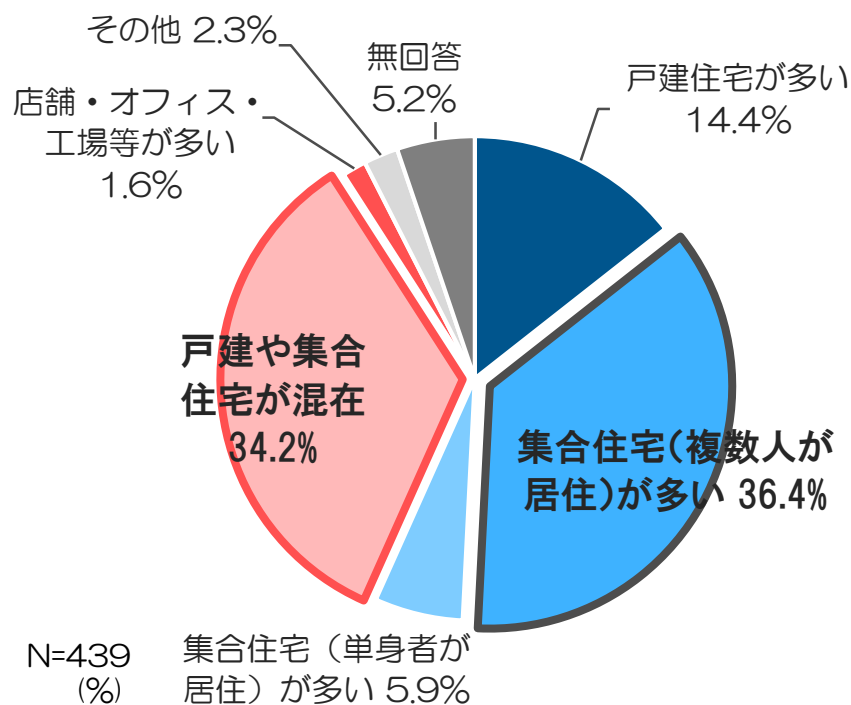
① 住宅状況

周りの住宅の状況

【町内会のある地域】



【町内会のない地域】



- 結成区域では戸建て住宅が半数近く、未結成区域では集合住宅が中心、戸建て・集合住宅の混在地域が多い。

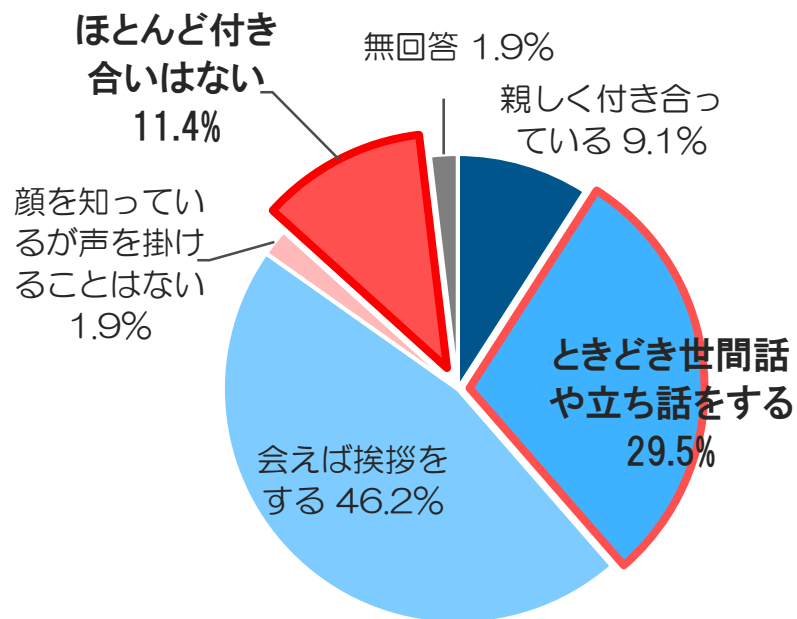
2.調査結果（ポイント）

市民意識アンケート（町内会のある地域・ない地域）

② 近所づきあい

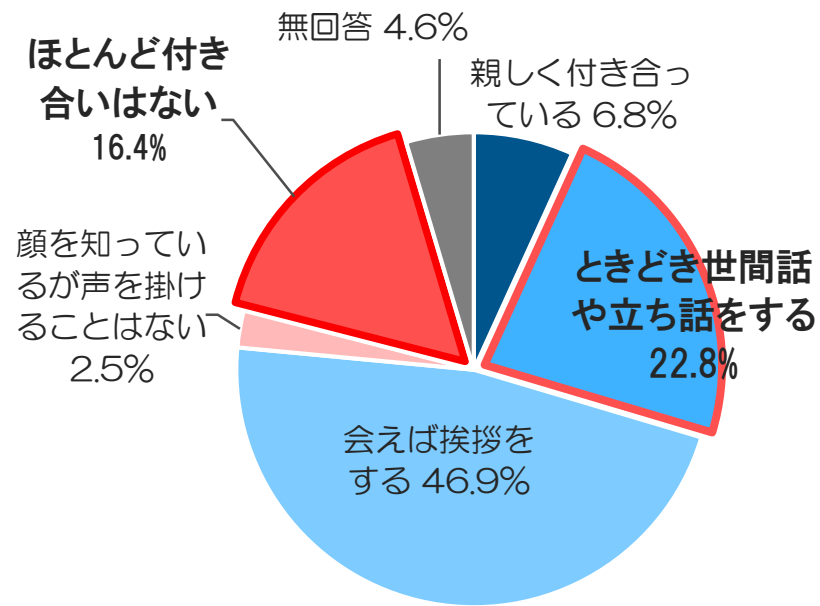
近所づきあいの程度

【町内会のある地域】



N=2515

【町内会のない地域】



N=439

- 結成区域は「ときどき世間話や立ち話をする」が7%高い。一方、未結成区域は「ほとんど付き合いがない」が5%高い。

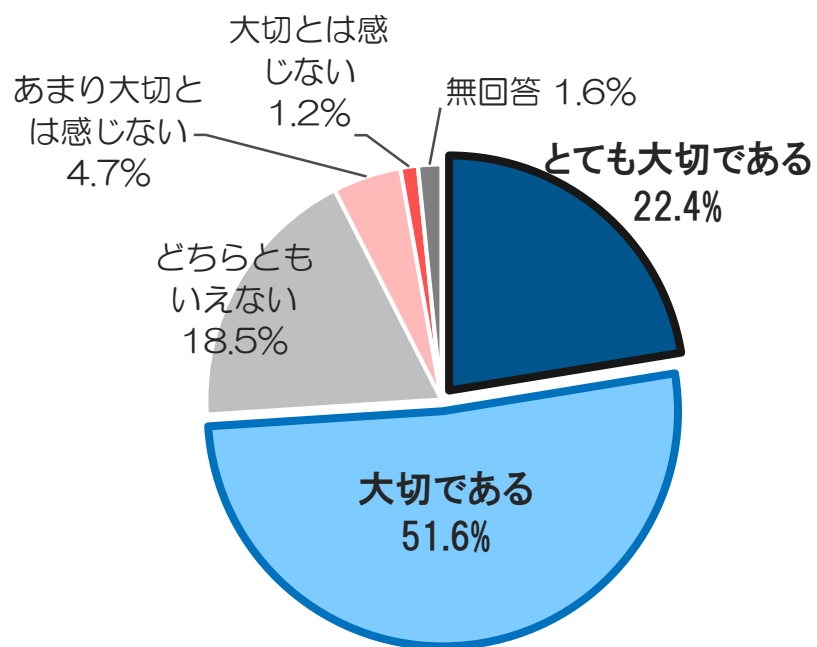
2.調査結果（ポイント）

市民意識アンケート（町内会のある地域・ない地域）

② 近所づきあい

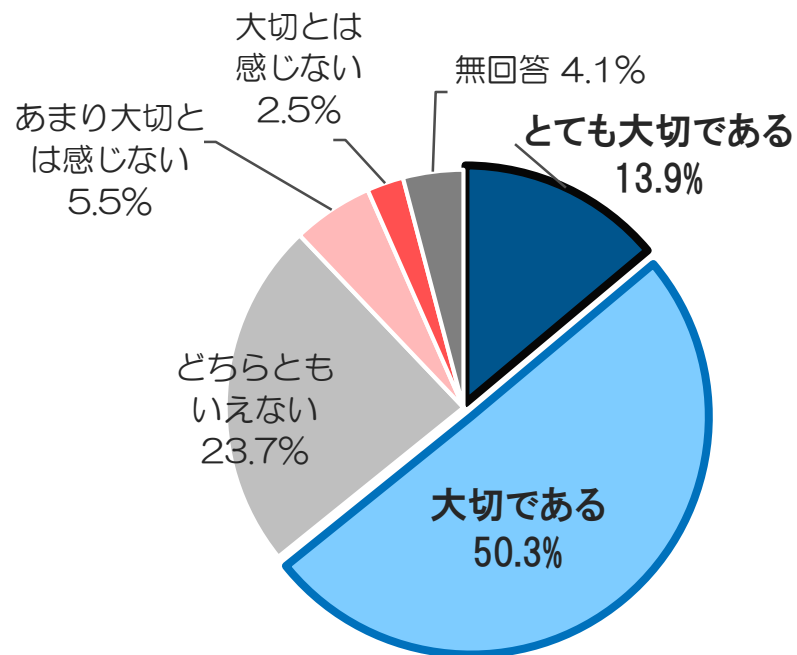
地域とのつながりの大切さ

【町内会のある地域】



N=2515

【町内会のない地域】



N=439

- 地域とのつながりでは、結成区域の7割強、未結成区域の6割強が「大切である」と回答している。

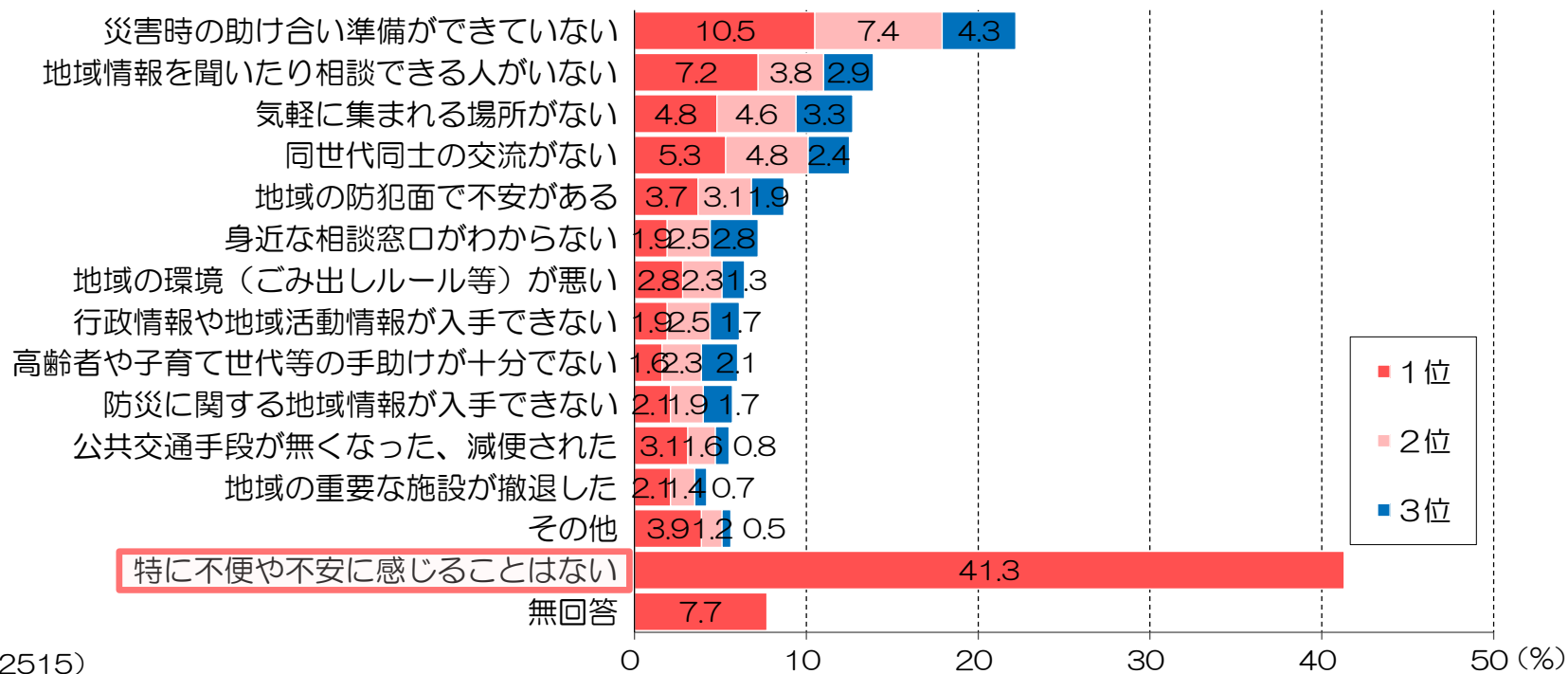
2.調査結果（ポイント）

市民意識アンケート（町内会のある地域・ない地域）

③ 地域への認識と地域活動への参加

地域生活で不便や不安なこと

【町内会のある地域】



➤ 約2割が「災害時の助け合い準備ができていない」と回答しているが、約4割は「不便・不安は特に感じない」と回答。

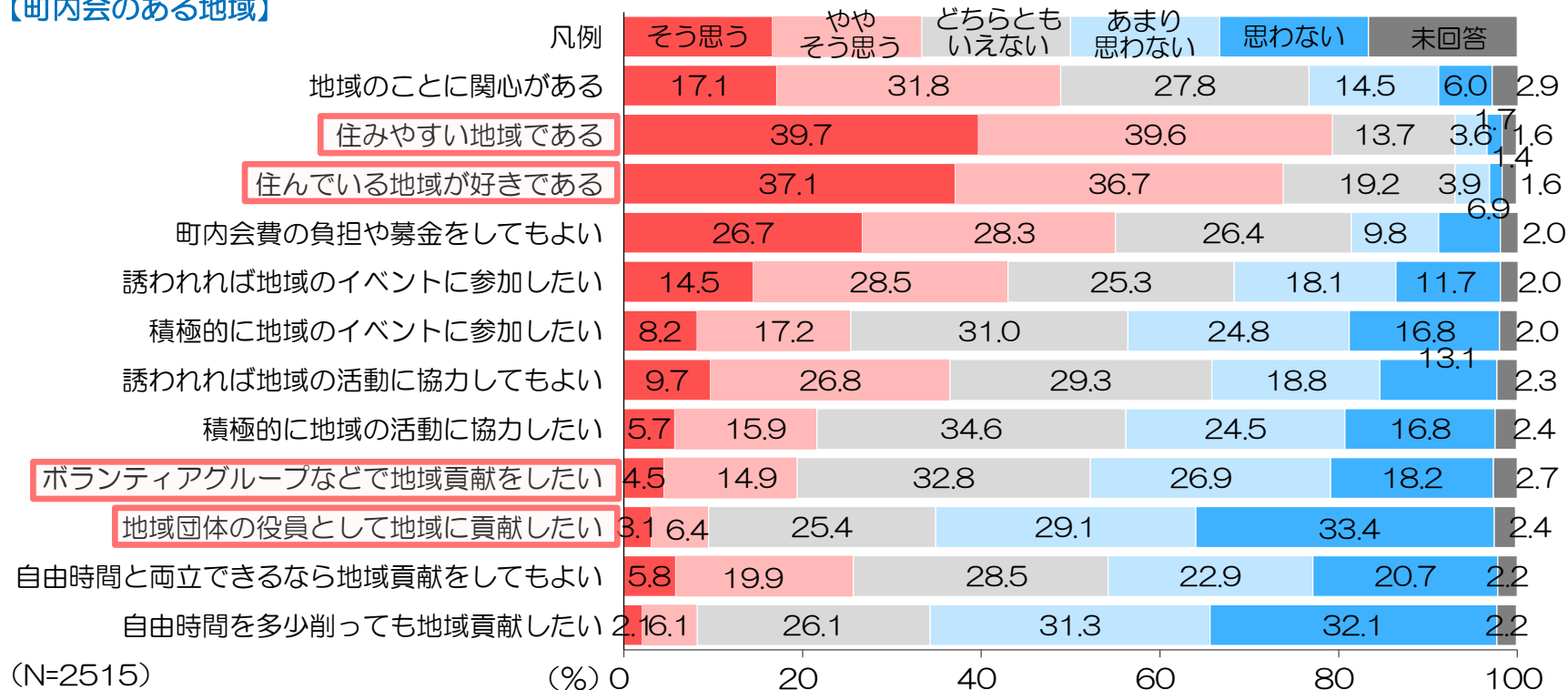
2. 調査結果（ポイント）

市民意識アンケート（町内会のある地域・ない地域）

③ 地域への認識と地域活動への参加

地域への認識

【町内会のある地域】



➤ 結成区域・未結成区域ともに約7割が「住みやすい地域」「住んでいる地域が好き」と回答。しかし、地域活動へ積極的に協力したいとの回答は結成区域で約2割、未結成区域で約1割と低い。

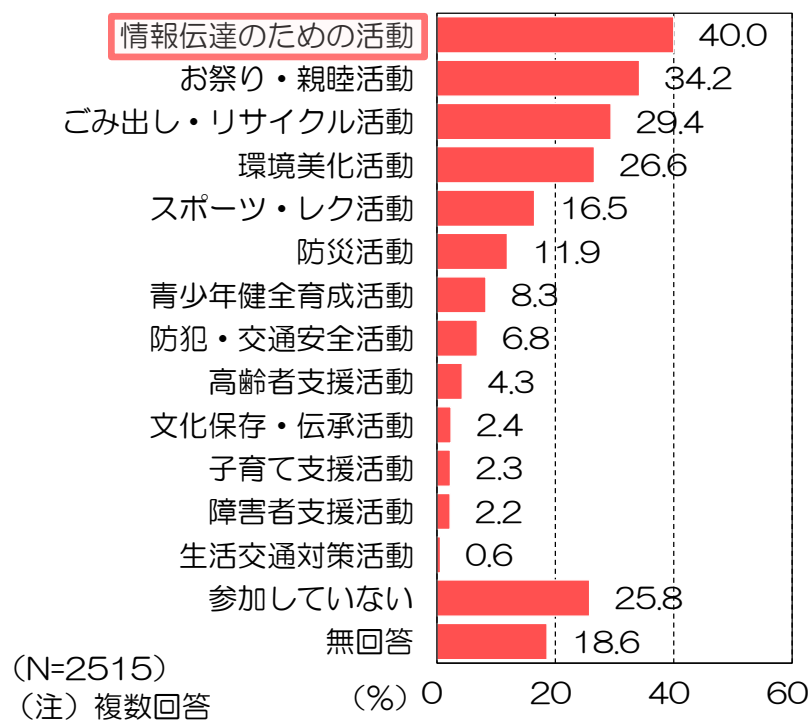
2.調査結果（ポイント）

市民意識アンケート（町内会のある地域・ない地域）

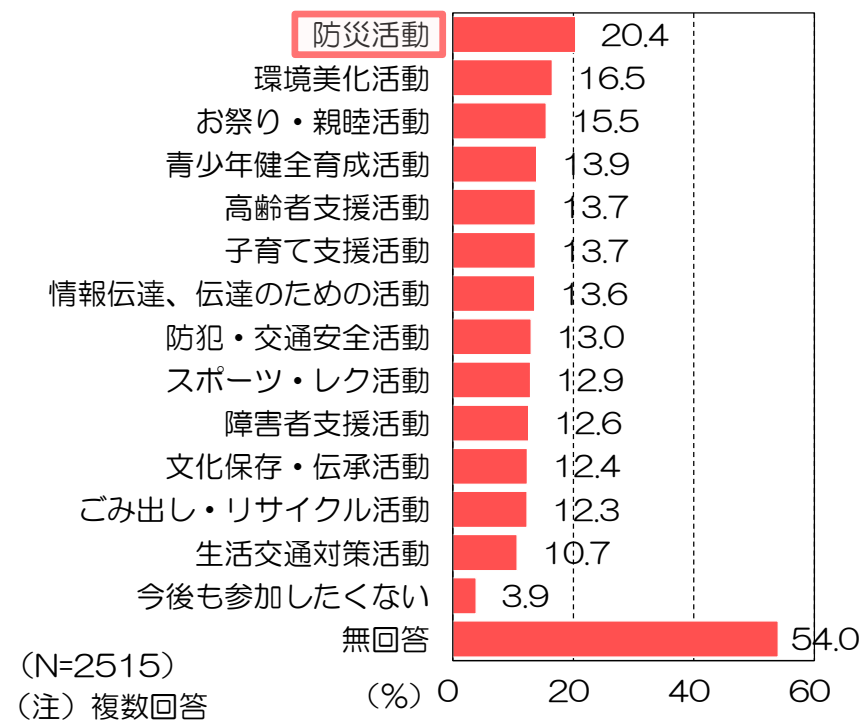
③ 地域への認識と地域活動への参加

地域活動への参加の経験・希望【町内会のある地域】

【参加したことがある活動】



【今後参加したい活動】



➤ 結成区域では、「情報伝達活動」「お祭り・親睦活動」に参加した人が多く、今後希望する活動は「防災活動」が2割。

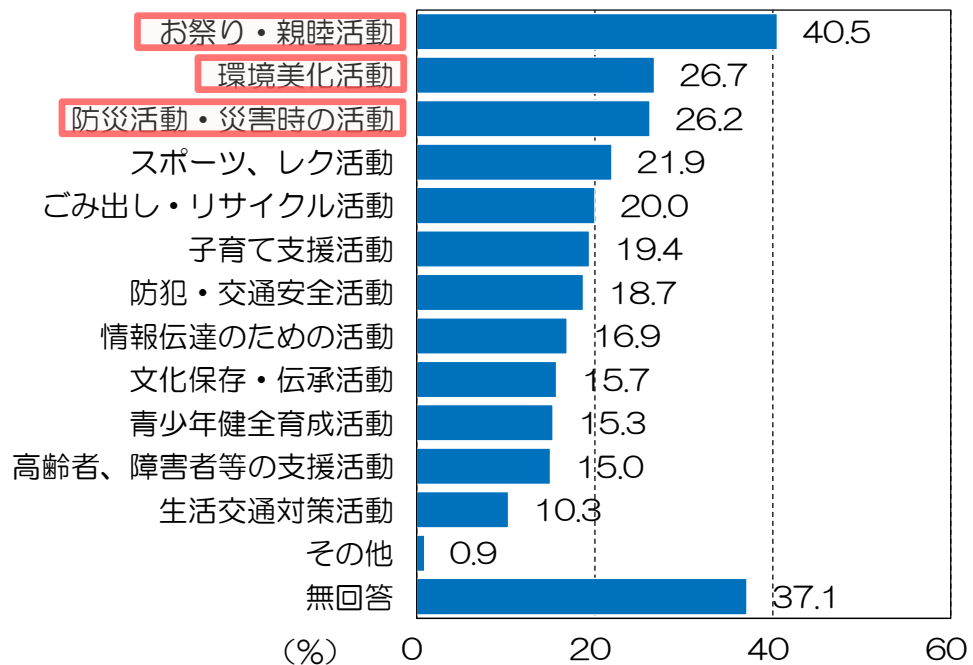
2.調査結果（ポイント）

市民意識アンケート（町内会のある地域・ない地域）

③ 地域への認識と地域活動への参加

地域活動への参加の経験・希望【町内会のない地域】

【参加したい活動】



➤ 未結成区域では、参加してみたい活動は「お祭り・親睦活動」「環境美化活動」「防災活動」が多い。双方とも、気軽に参加できるものに人気があり、また、防災意識の高まりが見られる。

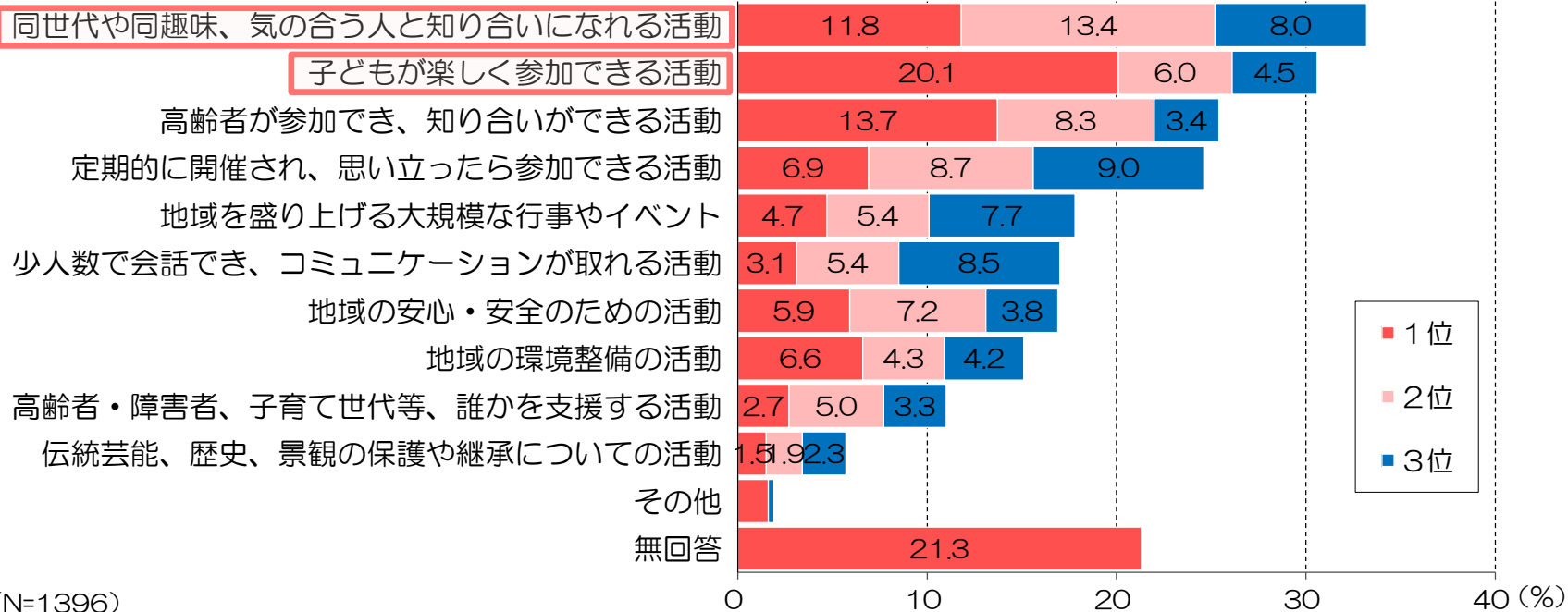
2.調査結果（ポイント）

市民意識アンケート（町内会のある地域・ない地域）

③ 地域への認識と地域活動への参加

参加が増えると思う活動

【町内会のある地域】



➤ 「同年代、同趣味の人と知り合える」「子どもが参加」が支持。

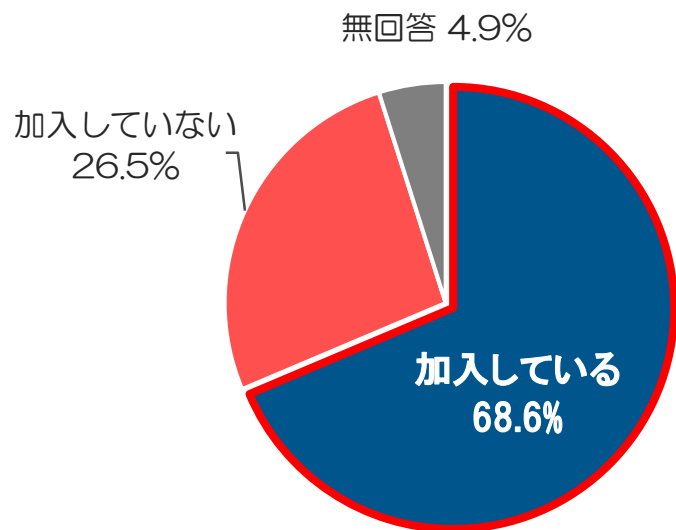
2.調査結果（ポイント）

市民意識アンケート（町内会のある地域・ない地域）

④ 町内会・自治会への加入状況

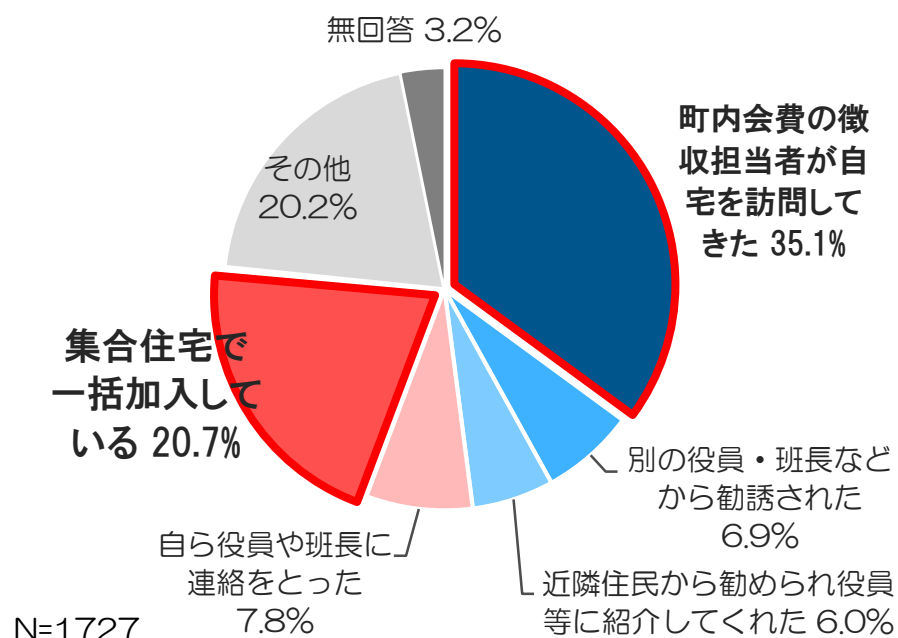
町内会・自治会への加入状況【町内会のある地域】

【加入状況】



N=2515

【加入したきっかけ】



N=1727

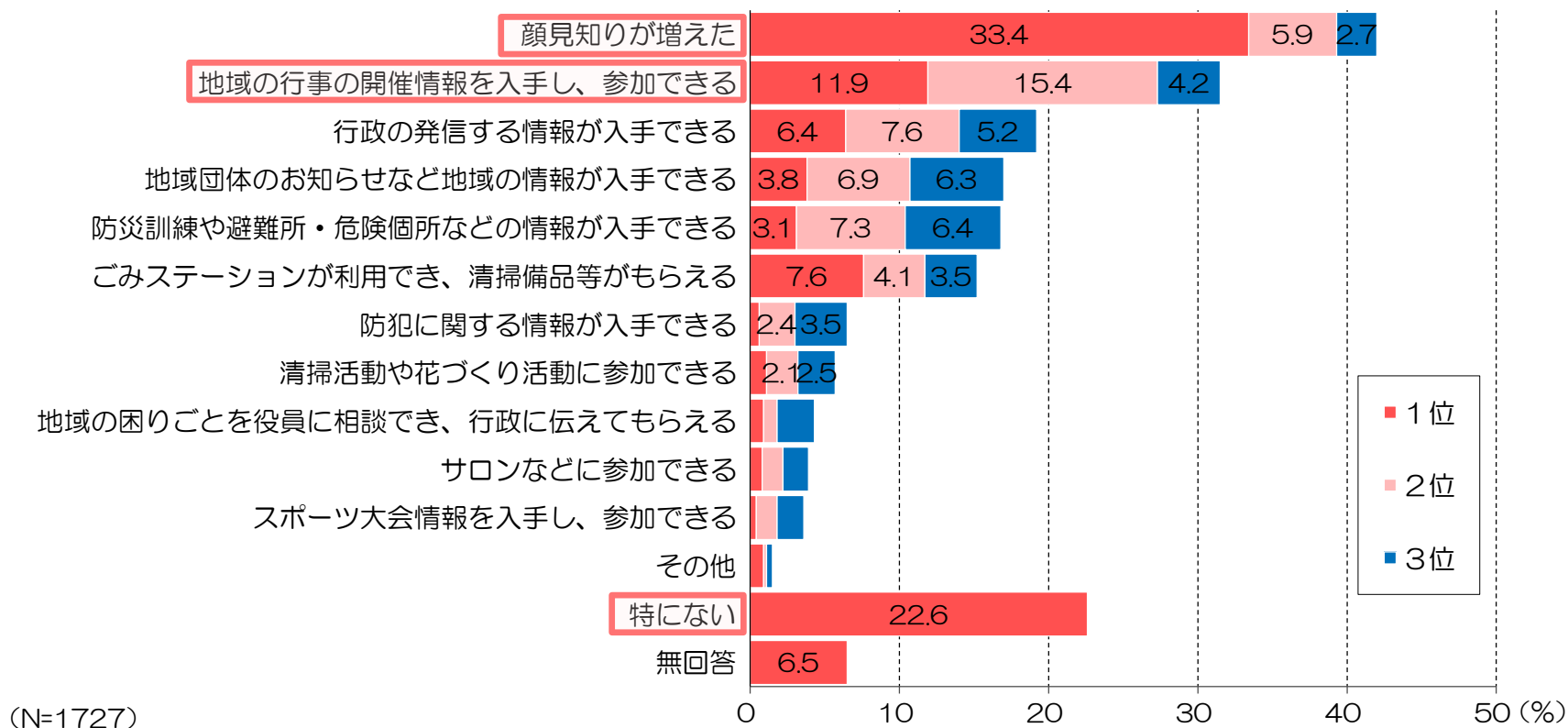
➤ 結成区域では、約7割が町内会・自治会に加入。きっかけは「町内会費の徴収担当者の自宅訪問」「集合住宅の一括加入」が多い。

2. 調査結果（ポイント）

市民意識アンケート（町内会のある地域・ない地域）

④ 町内会・自治会への加入状況

町内会・自治会に加入してよかったと思うこと【町内会のある地域】



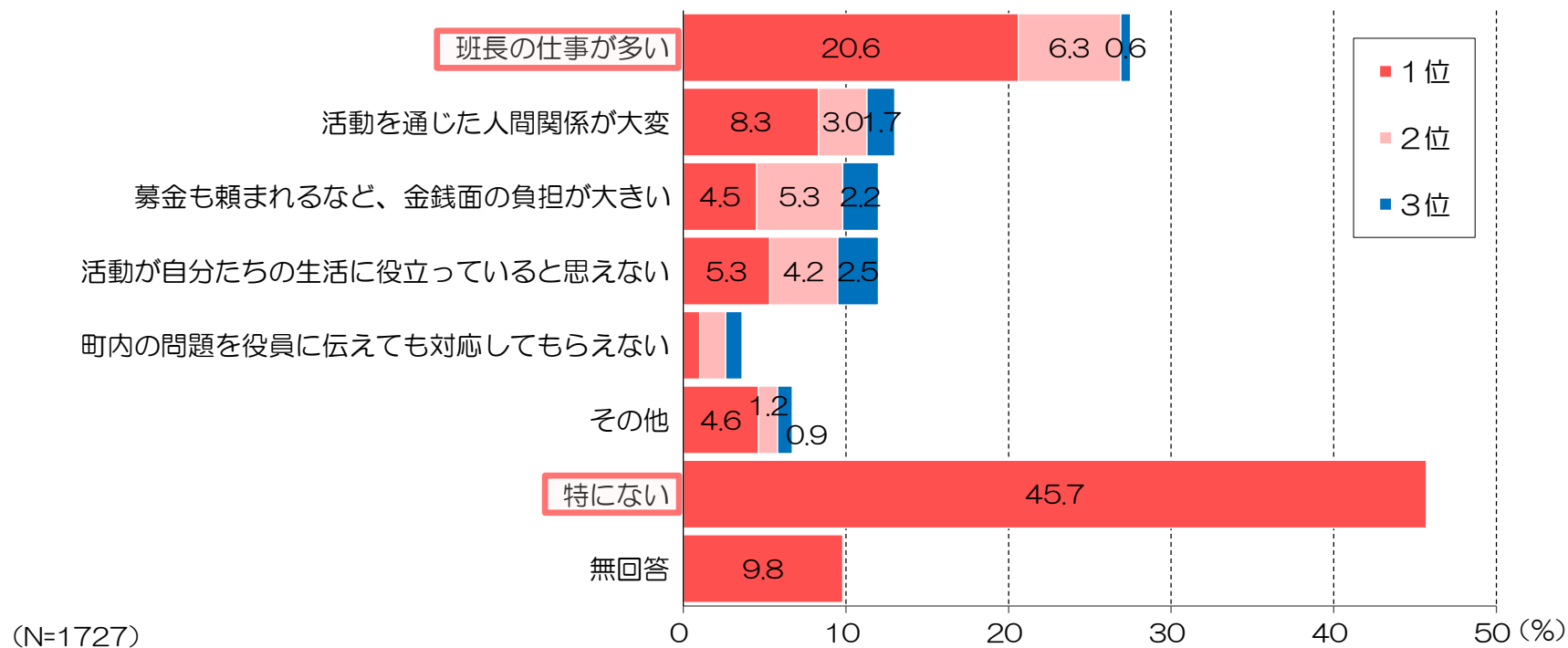
➤ 加入のメリットは「顔見知りが増えた」が最も多い。

2.調査結果（ポイント）

市民意識アンケート（町内会のある地域・ない地域）

④ 町内会・自治会への加入状況

町内会・自治会に加入して大変又は不満に思うこと【町内会のある地域】



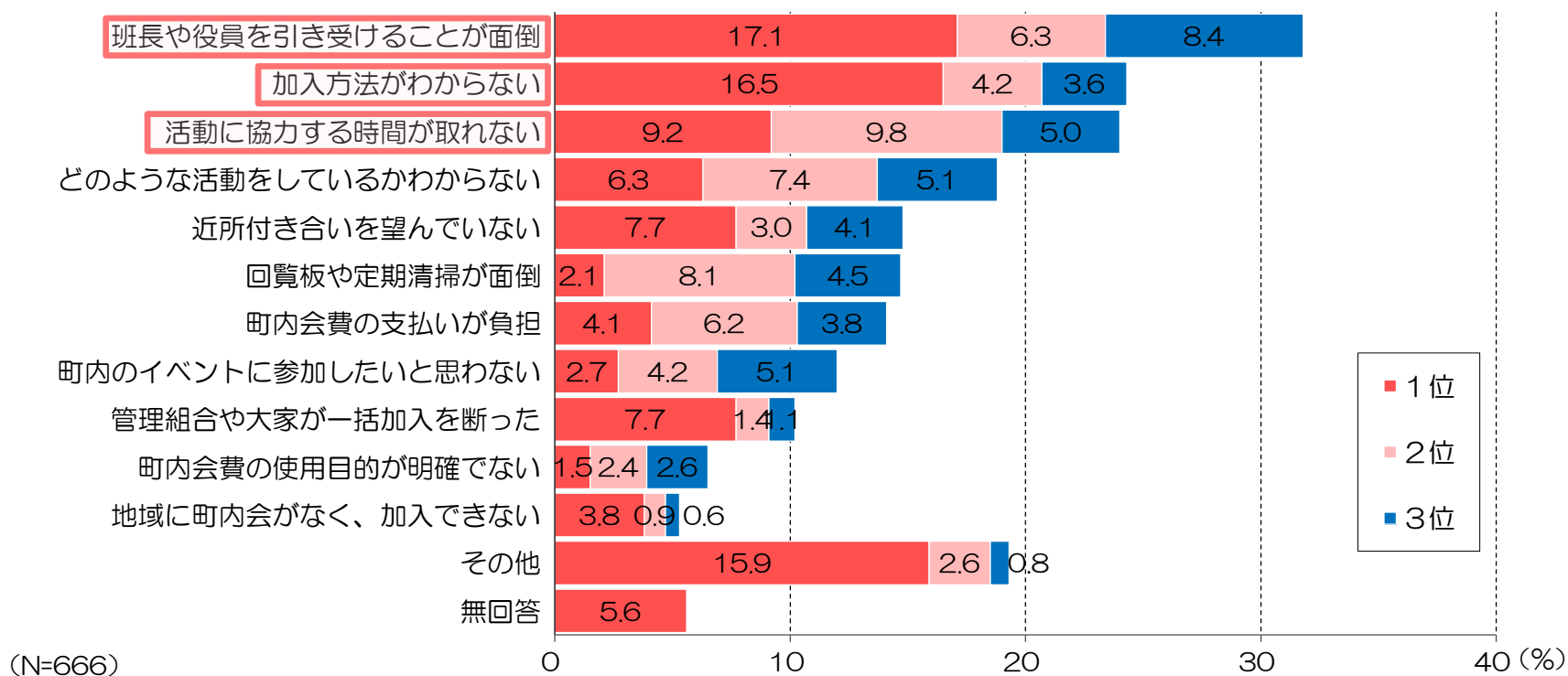
➤ 加入のデメリットは「特にない」が最も多い。

2.調査結果（ポイント）

市民意識アンケート（町内会のある地域・ない地域）

④ 町内会・自治会への加入状況

町内会・自治会に加入しなかった理由【町内会のある地域】



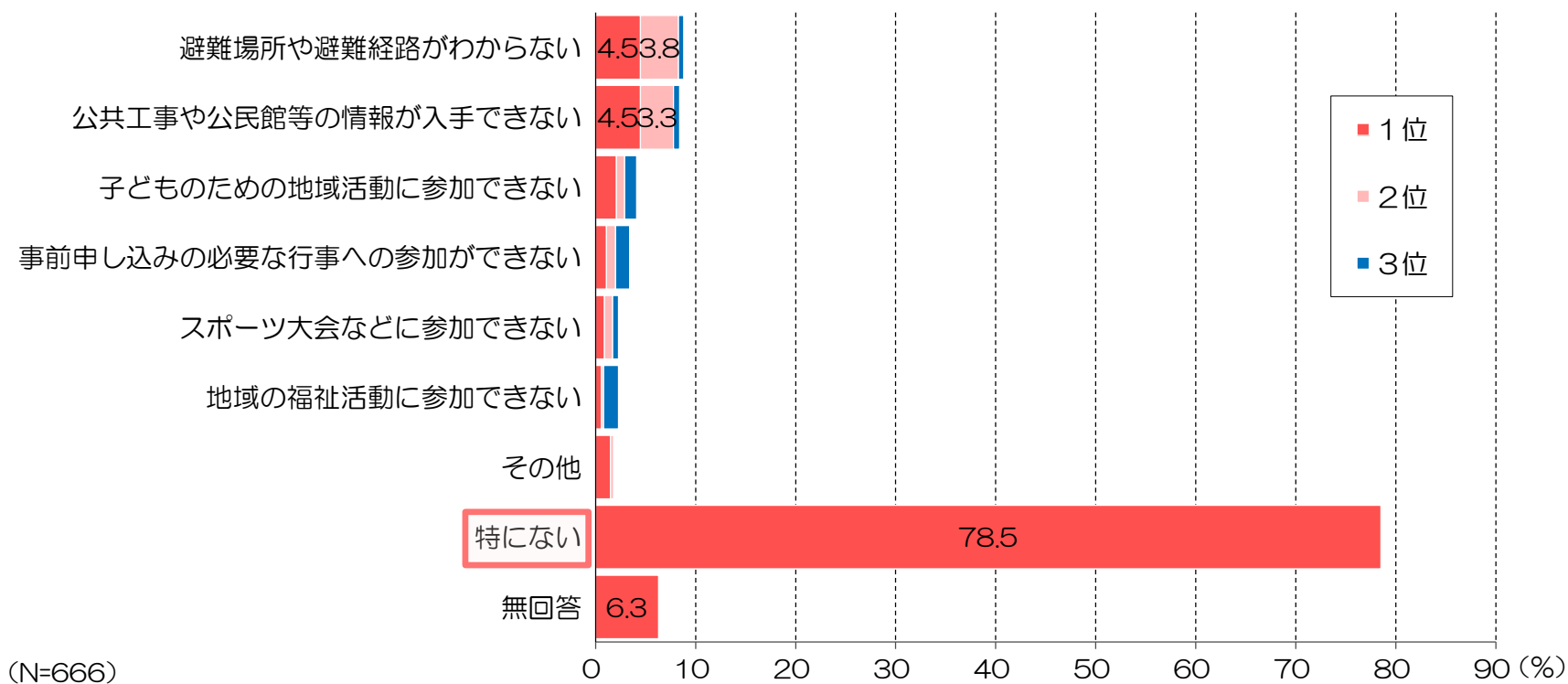
➤ 未加入理由は、「役員を引き受けるのが面倒」が最も多く、次いで「加入方法が分からない」、「活動に協力する時間が取れない」の順。

2.調査結果（ポイント）

市民意識アンケート（町内会のある地域・ない地域）

④ 町内会・自治会への加入状況

町内会・自治会に加入していないことで困ったこと【町内会のある地域】



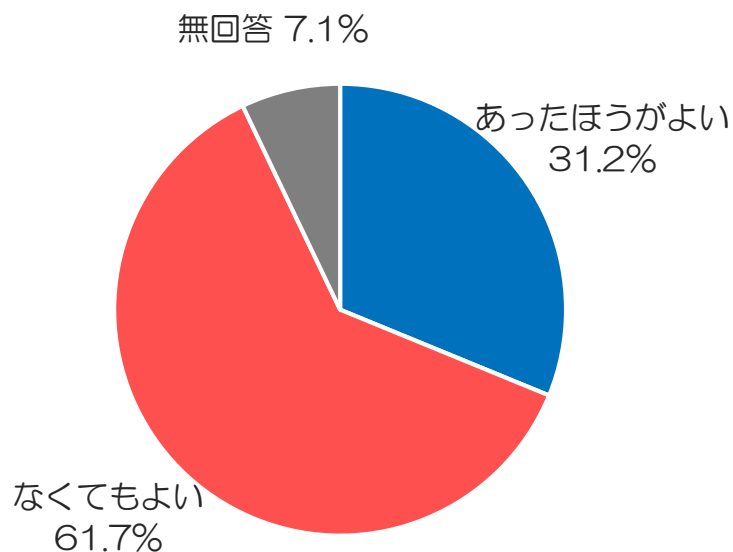
▶ 未加入で困ったことは「特になし」が約8割。

2.調査結果（ポイント）

市民意識アンケート（町内会のある地域・ない地域）

④ 町内会・自治会への加入状況

自分の地域に町内会・自治会があるべきか【町内会のない地域】



N=439

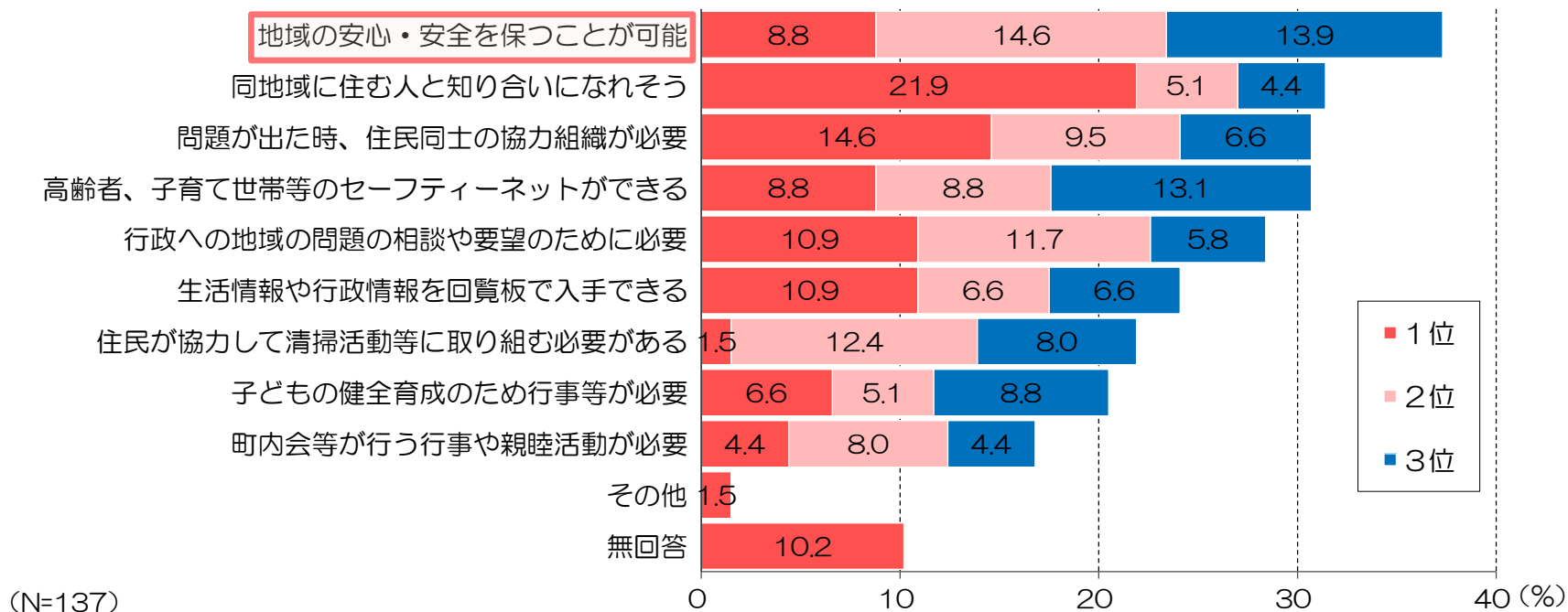
- 未結成区域では、約3割が「町内会・自治会がある方がよい」、約6割が「なくてもよい」と回答。

2.調査結果（ポイント）

市民意識アンケート（町内会のある地域・ない地域）

④ 町内会・自治会への加入状況

町内会・自治会があった方が良い理由【町内会のない地域】



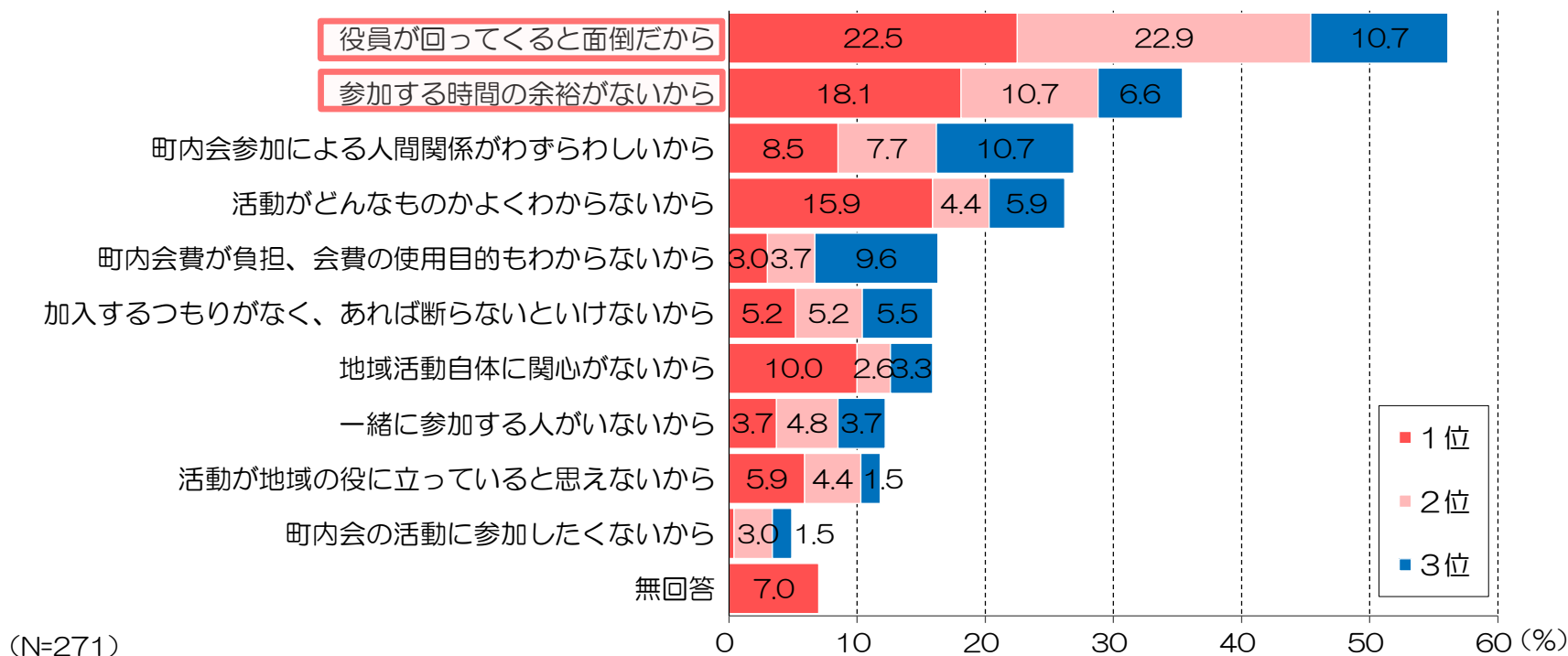
➤ 肯定する理由は、「地域の安全・安心が保たれる」が最も多く、次いで「知り合いができそうだから」。

2.調査結果（ポイント）

市民意識アンケート（町内会のある地域・ない地域）

④ 町内会・自治会への加入状況

町内会がなくてもよい理由【町内会のない地域】



➤ 否定する理由は、「役員が回ってくると面倒」が6割弱と特に多く、次いで「時間の余裕がない」。

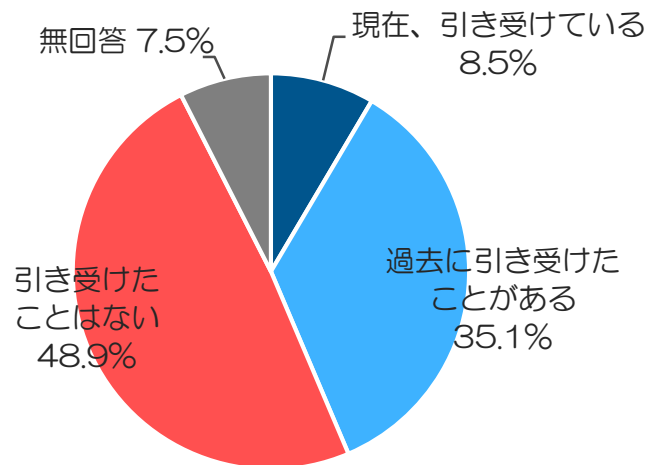
2.調査結果（ポイント）

市民意識アンケート（町内会のある地域・ない地域）

⑤ 活動への協力（役員への意識）

町内会・自治会の役員を引き受けた経験の有無

【町内会のある地域】



N=2515

【町内会への加入の有無別】

	現在、引き受けている	過去に引き受けたことがある	引き受けたことはない
全体	8.5	35.1	48.9
加入している	12.0	45.7	38.4
加入していない	0.3	12.6	81.8

(注) 数字は、横合計に対する割合 (%)

➤ 加入者は町内会役員を引き受けた経験が4割強。一方、未加入者も1割ある。

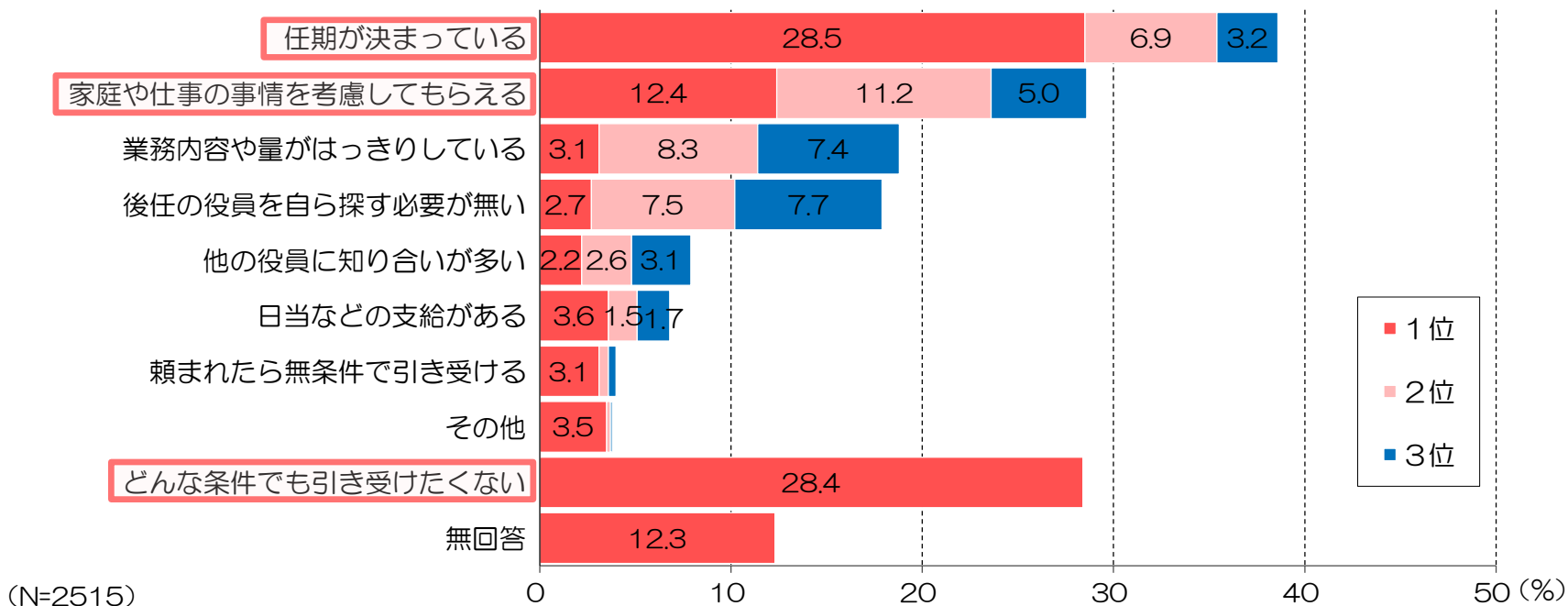
2.調査結果（ポイント）

市民意識アンケート（町内会のある地域・ない地域）

⑤ 活動への協力（役員への意識）

町内会・自治会の役員を引き受けるための条件

【町内会のある地域】



➤ 「任期が決まっている」「会議や行事の出席が都合を考慮してもらえる」が多い。一方、「どんな条件でも引き受けたくない」が28%いる。

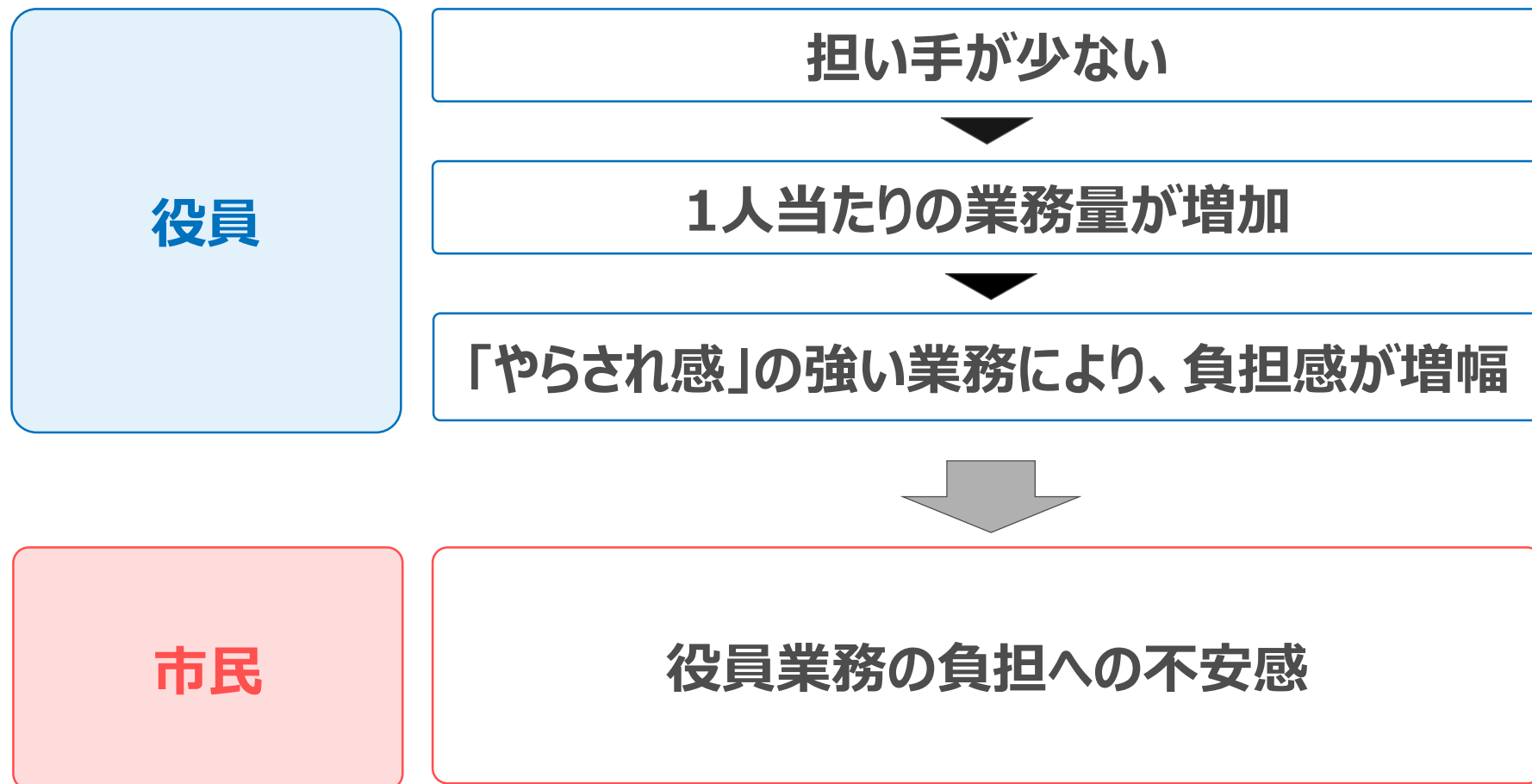
3. 調査結果から見た問題点

(1) 団体運営の問題点（何が活動・運営の支障になっているのか）

問題点	アンケートから
担い手不足	<p>【町内会・地域団体】</p> <ul style="list-style-type: none">● 役員の高齢化(町内会長は70代以上が5割強)● 担い手不足が起きている（75.8%） ⇒原因は、「役員の負担が大きいと住民に思われている」（78.1%） <p>【市民】</p> <ul style="list-style-type: none">○ 町内会に加入しない理由1位「役員になりたくないから」（31.8%）○ 地域活動に参加していない理由1位「活動に参加する時間の余裕がない」（52.6%） <p>※自由意見：仕事・家庭が忙しく、<u>申し訳ないが活動に協力できない。</u></p>
役員の負担大	<p>【町内会・地域団体】</p> <ul style="list-style-type: none">● 会長の平均兼務数（町内会長4.7役、地域団体の会長6.8役）● 特に負担感の大きい仕事「会議の開催準備」「チラシの配布・回覧」 <p>※自由意見：会長に業務が集中。日程調整や資料作りなどの段取りを全部やるのは大変。出席しなければならない会議が多すぎる。代理出席が頼めない。全部ひとりで決めている。</p> <ul style="list-style-type: none">● 「やらされ感」が強く、「達成感」が少ない業務内容 <p>【市民】</p> <ul style="list-style-type: none">○ 町内会に加入して大変だったことの1位「班長の仕事が多い」（27.5%）

3. 調査結果から見た問題点

(1) 団体運営の問題点（何が活動・運営の支障になっているのか）



3. 調査結果から見た問題点

(2) 住民参画の問題点（なぜ住民は地域コミュニティへの参加を避けるのか）

問題点		アンケートから
団体・活動 の認識不足	町内会の役割 の周知不足 【行政】	<p>【町内会・地域団体】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 住民から「町内会加入のメリット」について聞かれる。（自由意見） <p>【市民】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 町内会に加入しないで困ったこと「特にない」（78.5%）
	住民を呼び込 む活動(広報・ 加入促進活 動)の停滞	<p>【町内会・地域団体】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 特に加入促進を行っていない町内会も多い。 ⇒未加入者への加入促進「行う予定はない」（23.0%） <p>【市民】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 町内会の加入のきっかけ 1位「班長などが自宅を訪問」（35.1%） <p>【町内会・地域団体】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 情報伝達や広報活動の課題 1位「回覧板が回るのが遅い」（34.4%） 2位「広報紙を作成する人がいない」（24.4%）
参加意欲の減少		<p>【町内会・地域団体】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 地域に興味のない住民が増えている。⇒参加者減少理由1位（54.2%） <p>【市民】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 活動に参加しない理由 2位「活動がどんなものかわからない」（36.0%） 3位「地域の活動に関心がないから」（34.3%） <p>【町内会・地域団体】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 住民の関心が高い活動になっていない。⇒参加者減少理由3位（38.2%） <p>【市民】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 町内会活動について 1位「毎年同じような活動を続けている」（40.4%）

3. 調査結果から見えた問題点

(2) 住民参画の問題点（なぜ住民は地域コミュニティへの参加を避けるのか）

行政

- 地域団体の役割や大切さをしっかり伝えられていない。

地域団体

- 住民参画を促す取組が十分に行えていない。

市民

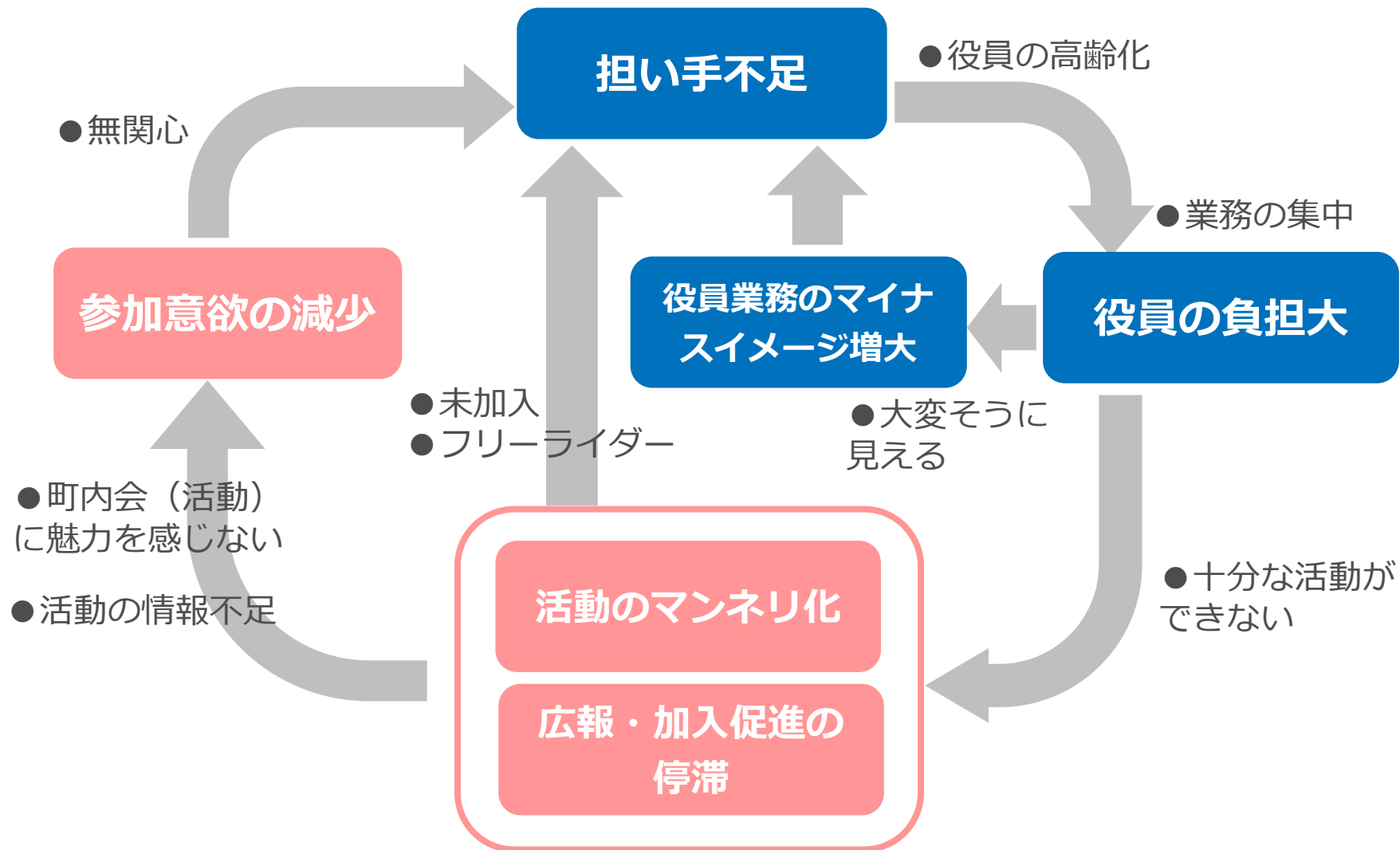
- 関係を持つとしない。
- 活動の成果への「ただ乗り（フリーライダー）」



○ 地域活動の意義の伝え方、
「主体的に関わる意欲」の醸成が課題。

3. 調査結果から見た問題点

地域活動の負のスパイラル



3. 調査結果から見た問題点

もしも町内会が解散したら（解散町内会の元役員のヒアリングより）

祭りがないので寂しい

災害時に近所のつながりが
ないので不安

近隣工事の騒音、
粉塵の問題があっ
たが、個人で対応
させられた

災害訓練等の回覧が
できない

解散時点の元役員で清掃
活動をしているが、新し
いメンバーが入らない

民生委員は対象者の情報が
少なくなり、大変



解散地区の住民

3. 調査結果から見た問題点

もしも町内会が解散したら（解散町内会の元役員のヒアリングより）

「町内会がなくても困っていない」という意見もあり。でも・・・

- 「高齢者いきいき体操」や高齢者の見守り活動は、民生委員がやっている。
- 元役員がどうしても必要な回覧（「家庭ごみの出し方」など）をしている。
- 街灯が切れたら元役員が区役所に連絡する。
- 商工会青年部が花火を打ち上げた。

▼
地域を支える人がやっぱり存在している！

この続きは、パネルディスカッションで・・・